

消 防 年 報

令和4（2022）年版



令和5（2023）年 消防出初式

柏 崎 市 消 防 本 部

令和5（2023）年発行

は し が き

この年報は、柏崎市消防本部の現況を広く一般に紹介するために編集したものです。この資料を一つの参考として、一層の御支援と御協力を賜れば幸甚に存じます。

なお、令和4（2022）年とあるのは、暦年《令和4（2022）年1月1日～令和4（2022）年12月31日》を表し、令和4（2022）年度とあるのは、会計年度《令和4（2022）年4月1日～令和5（2023）年3月31日》を表すものです。

令和5（2023）年 8月

柏崎市消防本部

ひと目でわかる柏崎消防

◆ 市 勢 《令和5（2023）年4月1日》

面積(k㎡)	人口	世帯数	人口密度	消防予算(千円)※
計 512.68	計 86,551人	計 37,886		1,341,894
柏崎市 442.03	柏崎市 78,167人	柏崎市 34,628	柏崎市 177人/㎏	
刈羽村 26.27	刈羽村 4,309人	刈羽村 1,587	刈羽村 164人/㎏	
出雲崎町 44.38	出雲崎町 4,075人	出雲崎町 1,671	出雲崎町 92人/㎏	

※令和5（2023）年度予算（消防施設費、水防費及び災害対策費を除く）

◆ 組織・施設 《令和5（2023）年4月1日》

署 所	消防職員	消防団員	消防水利(現有水利)
消防本部 1 消防署 1 分署 1 分遣所 3	156人	柏崎市 1,282人 刈羽村 182人 出雲崎町 153人	消火栓 2,757基 防火水そう 607基

◆ 消防車両 《令和5（2023）年4月1日》

消防ポンプ自動車	救助工作車	救急自動車	はしご自動車	化学消防車	指揮車
8台 (非常用2台含む)	1台	6台 (非常用1台含む)	2台	2台	1台

※上記の他、特殊車等7台（広報車1、資器材搬送車2、水槽車1、支援車1、人員輸送車1、火災原因調査車1）及び業務車両4台を保有

◆ 災害発生状況 《令和4（2022）年》

火 災	救 急	救 助	緊急通報受付(119他)
27件	出場件数 4,270件 搬送人員 3,941人	出場件数 51件 救助人員 18人	5,977件

目 次

【総 括】

1	位置及び地勢	1
2	柏崎消防の沿革	1
3	歴代消防長・消防署長	8
4	面積・人口・世帯数及び管内図	10

【総 務】

1	柏崎市消防本部機構図	11
2	消防本部の分掌事務	12
3	消防署の分掌事務	13
4	消防庁舎の現況	14
5	消防事務の財政	
(1)	消防費決算状況	15
(2)	人口及び世帯に対する決算割合	15
6	消防職員調	
(1)	階級別調	16
(2)	在職年数調	17
(3)	年齢調	18
(4)	職員の階級別比較	19
7	消防吏員の免許等取得状況	20
8	消防吏員の研修受講状況	21
9	消防吏員の表彰状況	22
10	消防力の基準と現有消防力の比較	23
11	消防吏員の特殊勤務手当支給基準	24
12	応援協定等	25

【火 災 予 防】

1	火災の概況	26
2	火災総括表	27
3	市町村別火災発生状況及び 住宅用火災警報器設置率	28
4	原因別出火件数	29
5	火災による死者数の推移	29
6	曜日別出火件数	30
7	時間帯別出火件数	30
8	市町村別出火件数の推移	31
9	用途別防火対象物数	32
10	市町村別用途別中高層防火対象物数	33
11	建築確認申請件数の推移	35
12	月別建築確認申請件数	35
13	消防用設備等設置届出件数	36
14	危険物施設数	37
15	市町村別危険物施設数	38
16	危険物施設申請届出件数	39
17	火薬類・武器(猟銃)施設数及び 届出件数	40
18	火薬類許可件数	40
19	高圧ガス保安法事業所数及び 申請届出件数	41
20	高圧ガス保安検査受検数	41
21	液化石油ガス法事業所数及び 申請届出件数	42
22	液化石油ガス法保安検査受検数	42

【警 防】

1	緊急通報等受付状況	43
2	火災出場状況	44
3	その他の災害出場状況	44
4	警戒業務運行状況	45
5	各種訓練等の状況	46
6	救急総括表	47
7	市町村別救急出場件数の推移	48
8	人口1万人当たりの救急出場件数の推移	48
9	覚知時刻別搬送人員	49
10	曜日別救急出場件数及び搬送人員	50
11	月別救急出場件数及び搬送人員	50
12	医療機関別搬送人員	51
13	事故種別傷病程度別搬送人員	51
14	年齢区分別事故種別搬送人員	52
15	事故種別搬送人員構成比の推移	52
16	現場到着所要時間別出場件数	53
17	収容所要時間別搬送人員	53
18	救急隊員の行った応急処置件数	54
19	救急救命士の救急自動車搭乗状況	55
20	応急手当普及啓発活動の状況	55
21	管内医療機関数	55
22	救助活動件数	56
23	月別救助出場件数	56
24	市町村別救助出場件数	57
25	市町村別救助出場件数の推移	57

26	救助訓練実施状況	57
27	消防水利	
	(1) 消防法基準適合水利数	58
	(2) 現有水利数	59
28	消防車両等保有状況	60
29	無人航空機ドローン保有状況	62
30	緊急消防援助隊資機材保有状況	62
31	原子力防護資機材保有状況	63
32	通信系統図	64
33	無線施設	65
34	気象状況	
	(1) 月別気象状況	66
	(2) 気象状況の推移	67

【消 防 団】

1	歴代消防団長	68
2	消防団組織図	69
3	消防団員調	70
4	消防団員報酬及び費用弁償の状況	70
5	消防団車両の状況	70
6	管内町村の消防団組織	71

総括



綾子舞 ユネスコ無形文化遺産登録

1 位置及び地勢

当消防本部は、柏崎市、刈羽郡刈羽村及び三島郡出雲崎町の1市1町1村を管轄する新潟県のほぼ中央に位置し、東は長岡市に、南は十日町市に、南西は上越市にそれぞれ接し、北西部は日本海に面している。

地形は、県内外にその名が知られている鯨波・番神・石地などの海水浴場を有する変化に富んだ海岸線と、南西から東部一帯にかけては米山・黒姫山・八石山に続き、北東部は西山連峰の山岳丘陵地に囲まれ、日本海に注ぐ河川は、鯖石川、鯖石川支流の別山川、鵜川及び島崎川に大別され、この河川流域に大小の平野が開けている。

気候は、このような地形から年間を通じては比較的温暖であるが、冬季は北西の季節風が吹き荒れ、海岸沿いを除き山間部の大半は豪雪地帯である。

交通面では北陸自動車道・国道8号・116号・252号・291号・352号・353号・402号が管内を縦横に走っている。

柏崎市から県都新潟市までは約80キロメートル、関東方面へは北陸自動車道から長岡ジャンクションで関越自動車道につながり、首都東京までは約300キロメートルの位置にある。

また、当地方は古くは宮川油田、刈羽油田、西山油田などで知られたエネルギーの供給地域であり、現在は電力供給基地として柏崎刈羽原子力発電所がある。

位置（消防本部） 東経138度34分 北緯37度21分
管轄面積 512.68km²

2 柏崎消防の沿革

柏崎消防の沿革については、明治4年に自身番を廃し、火防組を編成した記録に始まり、明治35年4月17日火防組を公設消防組に改組したが、その後結成された柏崎町消防後援隊及び柏崎町防護団とともに、警防団令公布により昭和14年3月31日に廃止し、昭和14年4月1日柏崎町警防団が設置された。

昭和15年6月15日柏崎町警防団に常備消防部が設置され、同年7月1日市制施行となり柏崎市警防団常備消防部と改称し、昭和22年12月消防団令の公布により柏崎市消防団常備消防部に改組した。

昭和23年3月7日消防組織法の施行により、昭和24年7月1日自治体消防として柏崎市消防本部及び消防署に改称し、その後昭和46年4月1日関係市町村により消防事務を共同処理する事務組合を設立したが、平成の大合併で平成17年4月30日同組合を解散、5月1日より名称を柏崎市消防本部に変更し、今日に至っている。

.....◇.....◇.....◇.....◇.....

		明治	
4 (1871) 年		自身番を廃止し、火防組を編成する。6組	人員約80人
35 (1902) 年	4月	火防組を消防組（公認）に改組	
45 (1912) 年		火防対策充実する	
		1 消防組の編成を組頭以下187人、4部に組織する	
		2 消防機械器具	
		(1)改良両口ポンプ	1台
		(2)ハンドポンプ	2台
		大正	
3 (1914) 年		消防組改良3号型蒸気ポンプ1台購入	
4 (1915) 年	11月	消防後援隊結成	人員480余人
		昭和	
5 (1930) 年	11月	柏崎町消防組現有状況	
		10部隊376人、消防ポンプ自動車2台、蒸気ポンプ1台	
		ガソリンポンプ5台、腕用ポンプ2台、各隊に破壊器具	
9 (1934) 年	7月	柏崎町防護団結成	

14 (1939) 年	4月	柏崎町警防団結成 警防団令（1月24日勅令第20号）公布により消防組を廃止し、柏崎町警防団を結成する。参加人員600余人
15 (1940) 年	6月	柏崎町警防団に常備消防部を創設、部長以下14人、消防ポンプ自動車2台で発足
	7月	市制施行に伴い、柏崎市警防団常備消防部に改称
	9月	常備消防部庁舎竣工（現西本町三丁目）
22 (1947) 年	12月	消防団令（4月30日勅令第185号）公布により柏崎市警防団を柏崎市消防団に改組消防団長以下319人、本部・常備消防部・工作部のほか6ヶ分団で組織
23 (1948) 年	10月	常備消防部消防ポンプ自動車1台購入、部員10人増員し、懸案の2台同時出動を達成する（現員26人、予備員6人）
24 (1949) 年	3月	柏崎市消防本部及び消防署設置条例を制定
	7月	昭和23年3月7日消防組織法（昭和22年12月23日法律第226号）の施行により、自治体消防として警察機構から分離独立し、常備消防部を柏崎市消防本部及び消防署に改称、消防長以下29人、消防ポンプ自動車3台で発足
	7月	柏崎市火災予防条例及び柏崎市危険物取締条例を制定
	8月	消防本部・消防署開庁式
	9月	職員定数29人となる（非常勤職員除く。以下同じ）
	11月	職員定数34人となる
	12月	消防本部・消防署庁舎増改築竣工
25 (1950) 年	6月	消防署長公舎竣工
	12月	職員定数35人となる
29 (1954) 年	4～5月	職員定数38人となる
31 (1956) 年	11月	消防用中短波無線局開局
34 (1959) 年	4月	職員定数41人となる
	6月	職員定数44人となる
35 (1960) 年	7月	普通消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
	7月	第11回新潟県消防大会
40 (1965) 年	6月	日本赤十字社新潟県支部から救急車の貸与を受け、本格的な救急業務を開始
	7月	職員定数47人となる
	12月	化学消防ポンプ自動車配備
44 (1969) 年	8月	職員定数52人となる
45 (1970) 年	3月	屈折はしご付消防ポンプ自動車配備
	4月	職員定数59人となる
	7月	柏崎市消防本部・消防署庁舎を大字茨目（現三和町）に新築開設し、旧庁舎を分署に改称
	10月	柏崎地域1市3町1村で広域救急業務を開始 （柏崎市・北条町・高柳町・刈羽村・西山町）
46 (1971) 年	4月	新潟県指令地第1173号により組合の設立について新潟県知事の許可があり柏崎市・刈羽郡北条町・高柳町・刈羽村・西山町及び三島郡出雲崎町の1市4町1村をもって消防事務のうち常備消防事務を共同処理する「新潟県柏崎地域消防事務組合」を発足
	5月	北条町が柏崎市に合併し、消防事務は1市3町1村となる
	6月	消防用超短波無線局を開局
	7月	西本町分署を第1分遣所に改称
	7月	柏崎市で第3回都市消防レンジャー技術競技大会
47 (1972) 年	1月	職員定数73人となる
	3月	出雲崎町大字川西に第2分遣所を開設、消防業務を開始する
	3月	消防署車庫増築
	4月	職員定数94人となる
	5月	高柳町大字岡野町に第3分遣所を開設、消防業務を開始する
48 (1973) 年	1月	救助工作車配備
	4月	職員定数100人となる
49 (1974) 年	3月	消防救急指令装置を設置
	7月	救助隊を整備、本格的な救助業務を開始する
	9月	第1回自衛消防隊消防研究会開催
	12月	泡放射砲車を新潟県から貸与
51 (1976) 年	4月	新潟県柏崎地域広域事務組合を設立、1市4町1村の広域事務のうち消防事務は1市3町1村で共同処理

51 (1976) 年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣 (昭和52年3月31日まで)
52 (1977) 年	11月	普通消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
53 (1978) 年	1月	第1分遣所庁舎改築
54 (1979) 年	1月	県波増波
	4月	柏崎地域の常備消防事務に小国町が加わり1市4町1村の広域消防となる
	4月	職員定数108人となる
55 (1980) 年	4月	職員定数122人となる
	4月	小国町大字法坂に第4分遣所を開設、消防業務を開始する
	9月	旧西山町立北野小学校跡に第5分遣所を開設、消防業務を開始する
	9月	北陸自動車道の供用開始に伴い高速自動車道での消防業務を開始する
	11月	西山町大字北野に第5分遣所庁舎を建設、移転し消防業務を開始する
56 (1981) 年	4月	職員定数129人となる
	4月	新潟県消防学校に教官職員の派遣 (昭和57年3月31日まで)
57 (1982) 年	5月	「原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会」発足
	6月	消防本部・消防署庁舎増築 (南棟)
	11月	北陸自動車道柏崎～米山間開通
	12月	32メートルはしご付消防ポンプ自動車配備
58 (1983) 年	8月	気象観測装置を設置
	11月	北陸自動車道米山～柿崎間開通
	8月	分遣所の名称を変更
	9月	西本町分遣所車庫新築
59 (1984) 年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣 (昭和60年3月31日まで)
	11月	出雲崎分遣所庁舎増築
61 (1986) 年	1月	鉄筋コンクリート6階建訓練塔新築
	10月	小国分遣所 救急自動車更新 (4WD救急車新規採用)
	12月	消防本部・消防署敷地整備 (アスファルト舗装)
62 (1987) 年	2月	消防救急指令装置更新 (NEC・FD-301E II型)
	2月	救助工作車更新
	7月	消防本部・消防署冷暖房設備工事 (自家変電設備・変電室建屋工事)
	8月	水槽付消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
	12月	出雲崎分遣所救急自動車更新 (4WD2B型)
	12月	広報車、新潟県から貸与
63 (1988) 年	3月	消防指令車更新 (ニッサンセドリック)
	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣 (平成元年3月31日まで)
	10月	救急輸送車 (トヨタコースター) 柏崎グリーンスタンプ会から寄贈
	12月	消防本部・消防署車庫増築工事 (北側)
	12月	消防本部・消防署危険物貯蔵庫改築工事
	12月	高柳分遣所増築工事

元 (1989) 年	2月	西山分遣所救急自動車更新 (ニッサンキャラバン2B型)
	4月	職員現員数129人
	5月	貨客兼用自動車更新 (スズキエブリー4WD)
	7月	消防署救急自動車更新 (トヨタハイエース2B型)
	9月	消防署救急自動車更新 (トヨタハイエース2B型) 日本赤十字社から委託
	10月	西本町分遣所救急自動車更新 (トヨタハイエース2B型)
	11月	西本町分遣所はしご付消防ポンプ自動車更新 (いすゞフォワードA2級15m級)
2 (1990) 年	4月	職員定数131人となる
	4月	職員現員数131人
	10月	小国分遣所訓練場舗装工事
	11月	西本町分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)
	11月	高柳分遣所無線基地・固定局工事更新
	12月	西本町分遣所化学消防ポンプ自動車更新 (日野レンジャーII型)
3 (1991) 年	4月	職員定数133人となる
	4月	職員現員数132人
	12月	消防署小型動力ポンプ付水槽車 (日野クルージング) 配備
	12月	出雲崎分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)
4 (1992) 年	4月	職員現員数133人
	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣 (平成5年3月31日まで)
	6月	消防本部連絡車更新 (スズキキャリア4WD)

4 (1992) 年	7月	高柳分遣所救急自動車更新 (ニッサンキャラバン)	
	11月	西山分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)	
5 (1993) 年	4月	職員現員数133人	
	10月	消防本部連絡車更新 (ニッサンADワゴン)	
	12月	高柳分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)	
	12月	ホース乾燥庫新築	
6 (1994) 年	1月	出雲崎分遣所仮眠室改築工事	
	4月	職員定数139人となる	
	4月	職員現員数139人	
	9月	消防署貨客兼用自動車更新 (トヨタダイナ)	
	10月	初の救急救命士養成のため救急救命東京研修所に職員派遣 (1人)	
	10月	小国分遣所救急自動車更新 (トヨタハイエース)	
	11月	高度応急処置用資機材整備 (小国分遣所)	
	12月	消防本部消防指令車更新 (三菱エテルナE)	
	12月	消防無線 (救急波) 施設整備工事	
	7 (1995) 年	1月	消防本部非常用発電設備工事
		1月	兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災) 発生 消防組織法第24条の3に基づき、神戸市へ救急隊1隊3人応援派遣
	8 (1996) 年	4月	職員現員数139人
6月		緊急消防援助隊創設 消火部隊1隊登録	
9月		西本町分遣所第二車庫外壁張替工事	
10月		小国分遣所無線基地・固定局更新工事	
11月		高度応急処置用資機材整備 (西本町分遣所)	
12月		小国分遣所及び出雲崎分遣所排水 (下水道) 設備工事	
1月		消防署化学消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそう5tディーゼル)	
1月		消防署救急自動車更新 (高規格救急自動車) (いすゞスーパーメディック)	
1月		広報車更新、新潟県から貸与	
3月		救急救命士教育用資機材整備	
3月		高規格救急自動車運用開始	
3月		救急業務高度化体制の開始	
4月		職員現員数139人	
4月		新潟県消防学校へ教官職員の派遣 (平成9年3月31日まで)	
6月		消防署船外機付救命ボート更新 (アキレスSU-14、ヤマハ30DM)	
7月		高度応急処置用資機材整備 (9項目)	
8月		出雲崎分遣所救急自動車更新 (トヨタハイエース2B改良型)	
9月		緊急連絡用システム整備 (職員招集等連絡網)	
10月	消防組織法の規定に基づく消防職員委員会が発足		
10月	小国分遣所除雪機更新 (フジイ)		
10月	耐電トランス整備 (落雷による過電流防止)		
12月	蒲原沢土石流災害発生 緊急消防援助隊 2隊10人応援派遣		
9 (1997) 年	1月	小国分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)	
	2月	消防本部連絡車更新 (三菱リベロカーゴE)	
	3月	消防署消防ポンプ自動車更新 (日野レンジャーCD-II型)	
	3月	西本町分遣所屋上防水工事	
	3月	鉄筋コンクリート造2階建訓練塔副塔新築 (防災資器材倉庫兼用)	
	4月	職員現員数138人	
	4月	新潟県消防防災航空隊に職員派遣 (平成11年3月31日まで)	
	8月	運輸大臣から感謝状を授与 (ナホトカ号重油流出事故活動)	
	10月	西山分遣所訓練場舗装工事	
	11月	西山分遣所救急自動車更新 (トヨタグランビア高規格型)	
10 (1998) 年	11月	西本町分遣所救急自動車更新 (トヨタグランビア高規格型)	
	12月	西本町分遣所消防ポンプ自動車更新 (三菱ふそうCD-I型)	
	4月	職員現員数138人	
11 (1999) 年	10月	消防署救急自動車更新 (トヨタグランビア高規格型)	
	11月	出雲崎分遣所庁舎外壁改修工事	
	3月	消防緊急通信指令施設II型整備工事	
	3月	消防緊急通信指令施設発信地表示装置整備工事	
3月	消防署救助工作車更新 (三菱ふそうII型)		

11 (1999) 年	4月	職員現員数138人
	7月	消防本部・署発足50周年式典を挙げる
	12月	消防署消防指令車更新(トヨタカムリグラシア)
12 (2000) 年	4月	職員現員数138人
	8月	出雲崎分遣所無線基地・固定局更新工事
	10月	高柳分遣所救急自動車更新(トヨタグランビア高規格型)
13 (2001) 年	12月	消防署水槽付消防ポンプ自動車更新(日野レンジャーII型)
	4月	職員現員数138人
	8月	火災原因調査車更新(トヨタハイエース)
14 (2002) 年	4月	職員現員数138人
15 (2003) 年	3月	消防本部・署庁舎東棟、危険物貯蔵庫改築及び北棟・南棟改修工事
	4月	職員現員数138人
16 (2004) 年	7月	西本町分遣所救急自動車、高規格運用開始
	1月	旧32メートルはしご付消防ポンプ自動車をタイ国パヤオ市に贈呈
	2月	30メートル級はしご自動車更新(日野KL-PR4FPHF 先端屈折式)
	4月	職員現員数138人
	4月	緊急消防援助隊 消防組織法改正による法制化
	7月	新潟・福島豪雨発生 「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、三条市へ4隊17人応援派遣
	10月	新潟県中越地震発生 「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、小千谷市へ15隊55人応援派遣
	10月	消防署消防ポンプ自動車更新(日野デュトロCD-I型)
	11月	消防署特殊災害救助車配備(いすゞフォワード)
	17 (2005) 年	3月
4月		職員現員数138人
4月		組合構成市町村であった小国町が長岡市との合併に伴い、消防力維持のため長岡市へ職員派遣(平成17年4月1日から平成19年3月31日まで12人、平成19年4月1日から平成20年3月31日まで6人)
4月		新潟県柏崎地域広域事務組合が4月30日解散
5月		組合構成市町村であった高柳町、西山町が柏崎市に編入合併され、名称を「柏崎市消防本部及び消防署」に変更。刈羽村、出雲崎町は、柏崎市が事務委託を受ける
5月		庶務課を総務課に課名変更、合わせて消防団事務を開始
4月		職員定数142人となる
18 (2006) 年	4月	職員現員数140人
	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣(平成20年3月31日まで)
	7月	消防署救急輸送車更新(ニッサンシビリアン)
	10月	消防ポンプ自動車をタイ国に贈呈
	12月	消防署高規格救急車更新(トヨタハイエース)
19 (2007) 年	4月	職員現員数142人
	4月	消防力の基準等の一部改正に伴い、指揮隊を整備
	7月	7月16日10時13分、震度6強の新潟県中越沖地震発生 応援隊として「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、県内18消防本部から延べ218隊、883人(応援期間7月16日～7月28日)、緊急消防援助隊消防防災航空隊11隊(応援期間7月16日～7月23日)の応援を受ける
20 (2008) 年	11月	出雲崎分遣所救急車更新(トヨタハイエース)
	4月	女性消防吏員初採用
	4月	職員現員数139人
	6月	岩手・宮城内陸地震発生 緊急消防援助隊 一関市へ1隊3人を派遣
21 (2009) 年	7月	東庁舎に女性用仮眠室を整備
	11月	西山分遣所高規格救急車更新(トヨタハイエース)
	4月	職員現員数141人
	4月	新潟県消防防災航空隊に職員派遣(平成23年3月31日まで)
22 (2010) 年	11月	西本町分遣所高規格救急車更新(トヨタハイエース)
	3月	消防署広報車兼資機材搬送車更新、新潟県から貸与(トヨタヴォクシー)
	3月	西本町分遣所消防ポンプ自動車更新(日野デュトロCD-I型)
	4月	職員定数145人となる
	4月	職員現員数141人

22 (2010) 年	7月	業務車更新 (スズキパレット)	
	7月	西山分遣所化学消防ポンプ自動車配備 (日野レンジャーII型)	
	8月	消防署消防指令車更新 (スズキランディー)	
23 (2011) 年	9月	消防署高規格救急車更新 (トヨタハイエース)	
	1月	西本町分遣所15メートル級はしご付消防ポンプ自動車更新 (日野レンジャー)	
	3月	消防緊急通信指令施設部分更新	
	3月	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災) 発生 緊急消防援助隊 石巻市へ22隊53人を派遣	
	4月	職員現員数138人	
	4月	高柳分遣所庁舎移転 (高柳町事務所併設)	
	4月	西山分遣所庁舎移転 (西山町事務所併設)	
	7月	平成23年7月新潟・福島豪雨発生 「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、三条市に1隊5人応援派遣	
	10月	高柳分遣所高規格救急車更新 (トヨタハイエース)	
	24 (2012) 年	1月	西山分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新 (日野デュトロCD-I型)
1月		出雲崎分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新 (日野デュトロCD-I型)	
25 (2013) 年	4月	職員現員数143人	
	5月	南魚沼市八箇峠トンネル内爆発事故発生 「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、南魚沼市へ2隊10人を派遣	
	8月	消防署業務車更新 (トヨタライトエース)	
	11月	消防署貨客兼用自動車更新 (三菱キャンター)	
	11月	高柳分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新 (日野デュトロCD-I型)	
	3月	西本町分遣所化学消防ポンプ自動車更新 (日野レンジャーII型)	
	4月	総務課を消防総務課に課名変更	
	4月	職員現員数144人	
	7月	消防救急デジタル無線整備工事開始 (3箇年継続事業)	
	9月	ホイールローダ配備	
	11月	南棟漏水工事	
26 (2014) 年	12月	南棟外壁塗装改修工事	
	1月	消防署小型動力ポンプ付水槽車更新 (日野レンジャー)	
	1月	下水道改修工事	
	2月	北棟外部鉄骨階段塗装改修工事	
	3月	西山分遣所仮眠室増設工事	
	3月	消防救急デジタル無線工事一部履行 (消防本部、西本町分遣所、高柳分遣所、市役所)	
	4月	再任用制度運用開始	
	4月	職員現員数148人 (再任用職員4人含む)	
	8月	旧化学消防ポンプ自動車をベトナム社会主義共和国に寄贈	
	8月	消防本部・消防署ガスヒートポンプエアコン室外機 (No.1) 修繕	
	8月	陽圧式化学防護服一式 (2着) 更新	
	11月	旧小型動力ポンプ付水槽車をフィリピン共和国に贈呈	
27 (2015) 年	12月	消防本部・消防署シャワー室改修工事 (女性専用シャワー室整備)	
	2月	消防本部・消防署屋外物置外装改修工事	
	3月	消防署多機能型水槽付消防ポンプ自動車更新 (日野レンジャーI-A型)	
	3月	消防救急デジタル無線工事一部履行 (西山分遣所)	
	4月	職員現員数149人 (再任用職員7人含む)	
	9月	関東・東北豪雨発生 緊急消防援助隊 常総市へ2隊6人を派遣	
	9月	北棟外壁・屋上防水改修工事	
	11月	消防署指令車更新 (トヨタハイエース)	
	28 (2016) 年	1月	出雲崎分遣所新庁舎へ移転
		3月	消防署高規格救急車更新 (トヨタハイエース)
3月		消防救急デジタル無線整備工事完了 (3箇年継続事業)、運用開始	
4月		職員現員数152人 (再任用職員7人含む)	
4月		初の指導救命士養成のため救急救命九州研修所に職員派遣 (1人)	
10月		西山分遣所高規格救急車更新 (トヨタハイエース)	
12月		消防本部・消防署庁舎東棟外壁改修工事	
12月		糸魚川市大規模火災発生 「新潟県広域消防相互応援協定」に基づき、糸魚川市へ3隊24人を派遣	
29 (2017) 年		3月	西分署竣工、西本町分遣所の機能を西分署に移転し仮運用開始
		3月	消防署電気自動車 日産自動車より貸与 (e-NV200) (令和2年3月買取)

29 (2017) 年	4月	職員現員数151人(再任用職員7人含む)	
	4月	西分署運用開始	
	4月	組織機構変更により、消防本部警防課を新たに設置	
	4月	柏崎総合医療センターと「大規模災害等における柏崎総合医療センターDMATと柏崎市消防本部の連携に関する協定」を締結	
	4月	柏崎地区生コンクリート組合と「災害時における消防用水の搬送に関する協定」を締結	
	9月	消防本部火災原因調査車更新(トヨタハイエース)	
	11月	西分署水槽付消防ポンプ自動車更新(日野デュトロCD-I型)	
	11月	避難指示区域 大規模火災対応訓練	
	11月	学生消防団員入団式(男性3人 女性2人)	
	11月	柏崎総合医療センターへ救急車寄贈(DMAT車両)	
	11月	柏崎市消防長による「ハラスメント防止宣言」	
	12月	出雲崎分遣所高規格救急車更新(トヨタハイエース)	
	30 (2018) 年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣(令和2年3月31日まで)
		4月	職員定数155人
		4月	職員現員数153人(再任用職員5人含む)
9月		北海道胆振東部地震発生 「大規模災害等における柏崎総合医療センターDMATと柏崎市消防本部の連携に関する協定」に基づき、札幌市、苫小牧市へ職員2人を派遣	
10月		柏崎ライオンズクラブから無人航空機(ドローン)2機が寄贈される	
31 (2019) 年	11月	西分署高規格救急車更新(トヨタハイエース)	
	12月	新潟県消防学校へ救急車寄贈	
	2月	高機能消防指令センター部分更新(コンピューター機器)	
	2月	車両動態位置管理システム導入	
	4月	機能別消防団発足(消防職員OB20人)	
	4月	職員現員数156人(再任用職員7人含む)	

元 (2019) 年	6月	山形県沖地震発生 「大規模災害等における柏崎総合医療センターDMATと柏崎市消防本部の連携に関する協定」に基づき、村上市へ職員2人を派遣
	10月	台風第19号による災害発生 緊急消防援助隊 長野市へ4隊16人を派遣
2 (2020) 年	11月	北陸瓦斯株式会社と「火災予防啓発の連携に関する協定」を締結
	11月	消防署高規格救急車更新(トヨタハイエース)
	3月	消防署救助工作車更新(日野レンジャーII型)
	3月	旧救助工作車を国際協力のため、一般社団法人日本外交協会へ無償譲渡
	3月	消防本部・消防署駐車場融雪施設改修工事
	4月	職員現員数154人(再任用職員6人含む)
	4月	緊急消防援助隊 救助小隊1隊追加
3 (2021) 年	4月～	新型コロナウイルスパンデミックによる感染予防対策の強化
	12月	訓練塔改修工事(外壁、建具、訓練用梯子)
	1月	柏崎市豪雪災害対策本部設置 災害救助法適用(自衛隊派遣要請)
	3月	西分署水槽付消防ポンプ自動車更新(日野レンジャーII型)
	4月	職員現員数156人(再任用職員7人含む)
	4月	新潟県消防防災航空隊に職員派遣(令和6年3月31日まで)
4 (2022) 年	4月	緊急消防援助隊 消火小隊1隊追加
	4月	旧水槽付消防ポンプ自動車を国際協力のため、一般社団法人日本外交協会へ無償譲渡
	9月	中村石油株式会社と「災害時における石油燃料供給に関する協定」を締結
	1月	消防本部地中熱空調設備設置
	4月	職員現員数155人(再任用職員6人含む)
	4月	原子力規制庁に職員派遣(令和6年3月31日まで) : 割愛退職
5 (2023) 年	7月	Net119緊急通報システム 共同運用開始
	12月	柏崎市豪雪災害対策本部設置 災害救助法適用(自衛隊派遣要請)
	3月	高機能消防指令センター部分更新(指令台)
	4月	職員現員数156人(再任用職員10人含む)
	～5月	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、感染予防対策を緩和

3 歴代消防長・消防署長

(1) 柏崎市消防本部・消防署（昭24. 6. 29～昭46. 3. 31）

	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	前川謙治	昭24. 6. 29	昭26. 5. 10	助役事務取扱
	二代	関憲治	昭26. 5. 11	昭34. 5. 11	〃
	三代	吉浦栄一	昭34. 5. 12	昭37. 9. 30	市長事務取扱
	四代	五十嵐信	昭37. 10. 1	昭38. 12. 31	
	五代	山田重行	昭39. 1. 1	昭45. 1. 31	
	六代	小林治助	昭45. 2. 1	昭46. 3. 31	市長事務取扱
消防署長	初代	五十嵐信	昭24. 6. 30	昭38. 12. 31	昭和37. 10. 1～昭和38. 12. 31 消防長事務取扱
	二代	山田重行	昭39. 1. 1	昭45. 1. 31	消防長事務取扱
	三代	松崎三作	昭45. 2. 1	昭46. 3. 31	

(2) 新潟県柏崎地域消防事務組合消防本部・消防署（昭46. 4. 1～昭51. 3. 31）
新潟県柏崎地域広域事務組合消防本部・消防署（昭51. 4. 1～平17. 4. 30）

	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	小林治助	昭46. 4. 1	昭50. 6. 30	管理者柏崎市長事務取扱
	二代	松崎三作	昭50. 7. 1	昭54. 1. 31	
	三代	小林治助	昭54. 2. 1	昭54. 4. 29	管理者柏崎市長事務取扱
	四代	今井哲夫	昭54. 4. 30	昭54. 6. 30	〃
	五代	中村四郎	昭54. 7. 1	昭57. 3. 31	
	六代	黒崎賢司	昭57. 4. 1	昭59. 3. 31	
	七代	村田精一	昭59. 4. 1	平 3. 3. 31	
	八代	原俊朗	平 3. 4. 1	平 6. 3. 31	
	九代	小林一彦	平 6. 4. 1	平10. 3. 31	
	十代	西巻一也	平10. 4. 1	平12. 3. 31	
	十一代	内山俊彦	平12. 4. 1	平16. 3. 31	
	十二代	前澤尚之	平16. 4. 1	平17. 4. 30	
消防署長	初代	松崎三作	昭46. 4. 1	昭54. 1. 31	昭和50. 7. 1～昭和54. 1. 31 消防長事務取扱
	二代	黒崎賢司	昭54. 2. 1	昭58. 6. 30	昭和57. 4. 1～昭和58. 6. 30 消防長事務取扱
	三代	村田精一	昭58. 7. 1	昭59. 3. 31	
	四代	小林久治	昭59. 4. 1	昭62. 3. 31	
	五代	坂井史郎	昭62. 4. 1	平 3. 3. 31	
	六代	小山勇	平 3. 4. 1	平 4. 3. 31	
	七代	猪俣彰	平 4. 4. 1	平 6. 3. 31	
	八代	海津昇一	平 6. 4. 1	平10. 3. 31	
	九代	内山俊彦	平10. 4. 1	平12. 3. 31	
	十代	大島修	平12. 4. 1	平14. 3. 31	
	十一代	前澤尚之	平14. 4. 1	平16. 3. 31	
	十二代	前澤泰男	平16. 4. 1	平17. 4. 30	

(3) 柏崎市消防本部・消防署 (平17. 5. 1～)

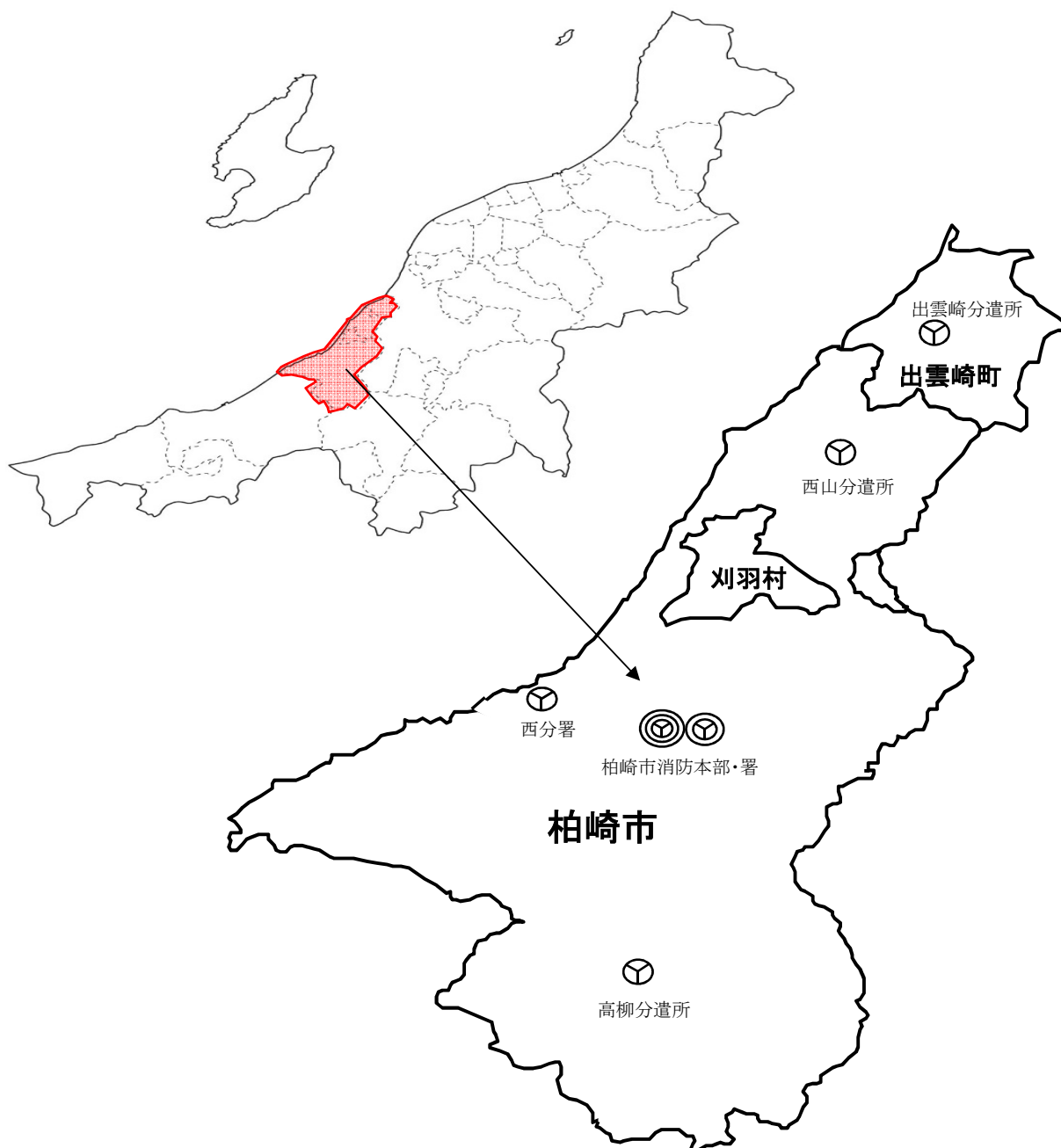
	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	前澤尚之	平17. 5. 1	平18. 3. 31	
	二代	大島 修	平18. 4. 1	平20. 3. 31	
	三代	前澤泰男	平20. 4. 1	平21. 3. 31	
	四代	須田正明	平21. 4. 1	平22. 3. 31	
	五代	須田静男	平22. 4. 1	平24. 3. 31	
	六代	赤堀 稔	平24. 4. 1	平26. 3. 31	
	七代	駒野龍夫	平26. 4. 1	平29. 3. 31	
	八代	近藤尚文	平29. 4. 1	令 2. 3. 31	
	九代	池田和利	令 2. 4. 1	令 4. 3. 31	
	十代	山崎 豊	令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	
	十一代	小林晴久	令 5. 4. 1		
消防署長	初代	前澤泰男	平17. 5. 1	平20. 3. 31	
	二代	須田正明	平20. 4. 1	平21. 3. 31	
	三代	須田静男	平21. 4. 1	平22. 3. 31	
	四代	大倉秀樹	平22. 4. 1	平23. 3. 31	
	五代	中澤修一	平23. 4. 1	平26. 3. 31	
	六代	若山 浩	平26. 4. 1	平29. 3. 31	
	七代	田辺昌敏	平29. 4. 1	令 3. 3. 31	
	八代	山崎 豊	令 3. 4. 1	令 4. 3. 31	
	九代	山崎定義	令 4. 4. 1		

4 面積・人口・世帯数及び管内図

市町村名	面積 (km ²)	令和5(2023)年4月1日		令和4(2022)年4月1日		前年比	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
柏崎市	442.03	78,167	34,628	79,668	34,800	△ 1,501	△ 172
刈羽村	26.27	4,309	1,587	4,365	1,588	△ 56	△ 1
出雲崎町	44.38	4,075	1,671	4,162	1,710	△ 87	△ 39
計	512.68	86,551	37,886	88,195	38,098	△ 1,644	△ 212

※面積は、令和4年10月1日現在の国土交通省国土地理院公表の数値

※人口及び世帯数は、当該年3月31日現在の住民基本台帳及び外国人登録法に基づく数値



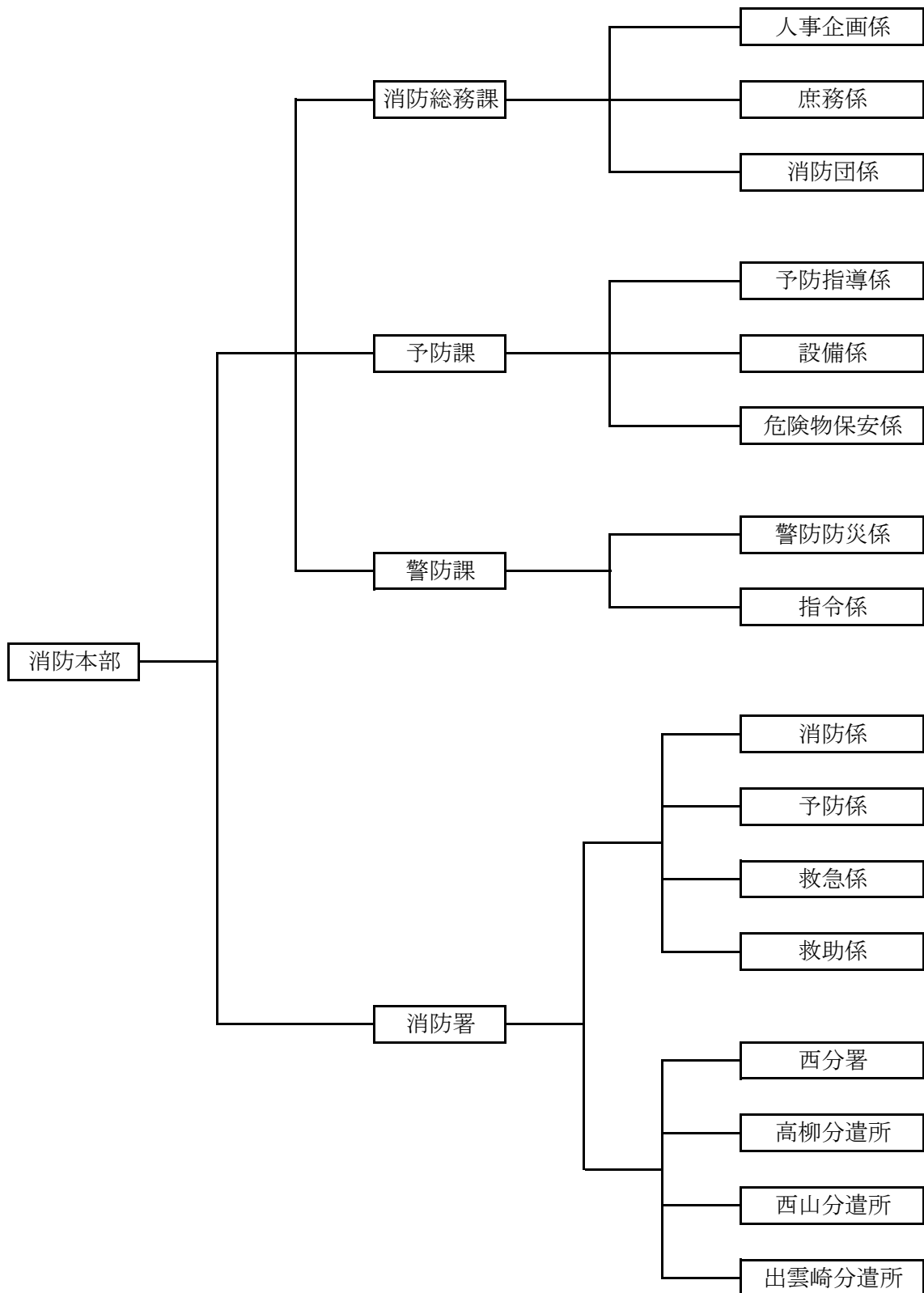
総務



荻ノ島かやぶき環状集落

1 柏崎市消防本部機構図

令和5（2023）年4月1日



2 消防本部の分掌事務

消防総務課

- 1 文書及び法規に関すること。
- 2 情報公開及び個人情報保護に関すること。
- 3 庁舎管理に関すること。
- 4 消防長会及び消防応援協定（緊急消防援助隊含む。）に関すること。
- 5 予算の編成、配当及び執行管理に関すること。
- 6 財産の管理及び契約に関すること。
- 7 職員の人事、給貸与、厚生及び研修に関すること。
- 8 職員の教育及び指導育成に関すること。
- 9 消防統計、広報及び表彰に関すること。
- 10 消防団及び消防施設に関すること。
- 11 水防活動に関すること。
- 12 他の課に属さないこと。

予 防 課

- 1 火災の原因及び損害調査に関すること。
- 2 防火対象物等の立入検査及び違反処理に関すること。
- 3 建築物等の確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
- 4 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- 5 火災予防条例に基づく届出及び指導に関すること。
- 6 住宅防火対策の推進に関すること。
- 7 危険物製造所等の許認可事務に関すること。
- 8 危険物製造所等の立入検査及び違反処理に関すること。
- 9 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）に関すること。
- 10 武器等製造法（昭和28年法律第145号）に基づく猟銃等に関すること。
- 11 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に関すること。
- 12 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号）に関すること。
- 13 特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律（昭和54年法律第33号）に関すること。
- 14 その他予防課業務の統計及び法規に関すること。

警 防 課

- 1 火災及び災害の警戒・防御に関すること。
- 2 現場指揮本部の運営に関すること。
- 3 警防計画に関すること。
- 4 消防訓練計画の企画及び立案に関すること。
- 5 消防応援協定に基づく応援及び受援に関すること。
- 6 緊急消防援助隊の応援及び受援に関すること。
- 7 原子力消防活動及び原子力防護資機材の整備・管理に関すること。
- 8 自衛消防隊の指導及び育成に関すること。
- 9 災害等出場命令に関すること。
- 10 災害等の情報収集及び記録に関すること。
- 11 消防指令・通信機器の整備及び管理に関すること。
- 12 気象観測及び気象情報の収集に関すること。
- 13 職員の非常招集及び消防団の出場要請に関すること。
- 14 その他警防課業務の統計及び法規に関すること。

3 消防署の分掌事務

消 防 署

- 1 火災及び災害の警戒・防御に関すること。
- 2 火災の原因及び損害調査に関すること。
- 3 救急業務の実施に関すること。
- 4 救助業務の実施に関すること。
- 5 消防水利施設の整備及び管理に関すること。
- 6 消防ポンプ操法の指導・審査に関すること。
- 7 防火対象物の立入検査に関すること。
- 8 火災予防条例に基づく届出及び指導に関すること。
- 9 住宅防火対策の推進に関すること。
- 10 建築物等の確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
- 11 応急手当の普及啓発活動の推進に関すること。
- 12 救急救命士を含む救急隊員の指導及び育成に関すること。
- 13 医療機関等救急関係機関との連絡調整に関すること。
- 14 救助技術の指導及び訓練に関すること。
- 15 消防車両、消防機械器具装備の整備及び管理に関すること。
- 16 救急車両、救急資器材の整備及び管理に関すること。
- 17 その他消防署業務の統計及び法規に関すること。

4 消防庁舎の現況

令和5（2023）年4月1日

所在地	構造	面積 m ²		
	竣工年月日	敷地	建築	延べ
消防本部・消防署				
 〒945-0034 柏崎市 三和町8番51号	鉄筋コンクリート 鉄骨造 3階建	6,837.04	1,034.43	2,718.82
	平成15(2003)年3月14日			
西分署				
 〒945-0068 柏崎市 東港町6番37号	鉄筋コンクリート造 2階建	3,634.14	714.84	1,195.27
	平成29(2017)年3月23日			
高柳分遣所				
 〒945-1502 柏崎市 高柳町岡野町1849番地1 (高柳町事務所併設)	鉄筋コンクリート造 3階建 地下1階	2,493.00 の一部	752.24 の一部	2,518.69 (占有) (310.20)
	平成23(2011)年1月30日			
西山分遣所				
 〒949-4123 柏崎市 西山町池浦117番地2 (西山町事務所併設)	鉄筋コンクリート造 3階建 鉄骨造2階建	7,319.88 の一部	1,181.28 の一部	2,542.85 (占有) (780.47)
	平成23(2011)年5月20日			
出雲崎分遣所				
 〒949-4353 三島郡 出雲崎町大字川西 129番地1	鉄骨造 3階建	495.70	180.00	566.02
	平成27(2015)年11月30日			

5 消防事務の財政

(1) 消防費決算状況

(単位：円)

区分		年度	令和3年度決算額	令和2年度決算額	比較増減
消防費	常備消防費		1,180,827,995	1,175,444,219	5,383,776
	給料		527,393,597	527,891,118	△ 497,521
	職員手当等		338,152,275	337,521,737	630,538
	共済費		176,897,972	179,861,755	△ 2,963,783
	報償費		320,000	220,000	100,000
	旅費		1,786,686	948,670	838,016
	交際費		0	0	0
	需用費		52,094,743	45,889,439	6,205,304
	役務費		9,595,434	10,356,156	△ 760,722
	委託料		54,793,650	52,214,790	2,578,860
	使用料及び賃借料		6,610,533	5,548,301	1,062,232
	原材料費		0	10,004	△ 10,004
	備品購入費		5,051,240	11,910,140	△ 6,858,900
	負担金補助及び交付金		7,218,365	2,200,409	5,017,956
	補償補填及び賠償金		0	0	0
	公課費		913,500	871,700	41,800
	非常備消防費		118,971,167	120,366,370	△ 1,395,203
	報酬		35,569,151	36,598,376	△ 1,029,225
	給料		7,131,900	4,779,600	2,352,300
	職員手当等		3,189,948	2,546,941	643,007
	共済費		2,270,129	1,811,081	459,048
	賃金		0	0	0
	報償費		5,938,500	6,222,000	△ 283,500
	旅費		10,817,480	13,158,060	△ 2,340,580
	需用費		12,381,593	12,872,854	△ 491,261
	役務費		978,390	1,179,221	△ 200,831
	委託料		1,776,335	1,927,035	△ 150,700
	使用料及び賃借料		766,404	649,563	116,841
	原材料費		0	41,578	△ 41,578
	備品購入費		213,400	0	213,400
負担金補助及び交付金		36,769,003	37,028,588	△ 259,585	
補償補填及び賠償金		164,934	278,073	△ 113,139	
公課費		1,004,000	1,273,400	△ 269,400	
消防費			1,299,799,162	1,295,810,589	3,988,573
一般会計決算額			50,857,010,178	58,677,032,397	△ 7,820,022,219
消防費割合 (%)			2.5	2.2	—

※消防施設費、水防費及び災害対策費を除く。

(2) 人口及び世帯に対する決算割合

(単位：円)

区分		年度	令和3年度	令和2年度	比較増減
常備消防費	人口1人当たりの消防費 (管内：柏崎市・刈羽村・出雲崎町)		13,117	13,057	60
	一世帯当たりの消防費 (管内：柏崎市・刈羽村・出雲崎町)		31,884	31,739	145
非常備消防費	人口1人当たりの消防費 (柏崎市)		1,459	1,476	△ 17
	一世帯当たりの消防費 (柏崎市)		3,509	3,550	△ 41

※人口及び世帯数については、国勢調査数値（令和2（2020）年10月）

6 消防職員調

(1) 階級別調

令和5（2023）年4月1日

階級 配置		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	計
		消防長	1							
	うち女性									0
消防本部	消防総務課		1	1	2	3(2)	1		2(1)	10(3)
	うち女性						1			1
	予防課		1	1	3	4(2)	2			11(2)
	うち女性						1			1
	警防課			2	3	8(1)	1	5		19(1)
	うち女性									0
	消防本部付				1			3		4
うち女性									0	
消防署	本署		1	2	9	16(3)	11	9		48(3)
	うち女性					1	2			3
	西分署				2	6(1)	6	9		23(1)
	うち女性					1		3		4
	高柳分遣所				2	4	3	3		12
	西山分遣所				3	5	2	6		16
	出雲崎分遣所				2	5	1	4		12
計	1	3	6	27	51(9)	27	39	2(1)	156(10)	
うち女性					2	4	3		9	

※（ ）内は、再任用職員を再掲

※職員条例定数は155人

(2) 在職年数調

令和5（2023）年4月1日

階級 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	計
	1年目							5	1
2年目							8		8
3年目							7		7
4年目							5		5
5年目							6		6
6年目						4	4		8
7年目						3	4		7
8年目						3			3
9年目						3			3
10年目					8	3			11
11年目					2	3		1(1)	6(1)
12年目					5	2			7
13年目					4	3			7
14年目				1	3	3			7
15年目				1	6				7
16年目					6				6
17年目					3				3
18年目					3				3
19年目									0
20年目				2	1				3
21年目					1				1
22年目				1					1
23年目									0
24年目				1					1
25年目				1					1
26年目									0
27年目				1					1
28年目									0
29年目									0
30年目				8					8
31年目				2					2
32年目				3					3
33年目			1	2					3
34年目			3						3
35年目		1	1						2
36年目									0
37年目				2					2
38年目									0
39年目		1							1
40年目			1						1
41年目	1								1
42年目		1		2					3
43年以上					9(9)				9(9)
計	1	3	6	27	51(9)	27	39	2(1)	156(10)

※()内は、再任用職員を再掲

※事務吏員の在職年数は消防本部における勤務年数

(3) 年齢調

令和5（2023）年4月1日

階級 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	計
18歳							2		2
19歳							4		4
20歳							4		4
21歳							2		2
22歳							6		6
23歳							7		7
24歳							9		9
25歳							5		5
26歳						7			7
27歳						5			5
28歳						5			5
29歳						3			3
30歳						3			3
31歳					4	4			8
32歳					4				4
33歳					13				13
34歳					3				3
35歳					6				6
36歳					6				6
37歳					3				3
38歳					1				1
39歳				1	1				2
40歳					1				1
41歳				4					4
42歳				1					1
43歳				1					1
44歳									0
45歳									0
46歳									0
47歳				5					5
48歳				3					3
49歳				5					5
50歳				2					2
51歳			3	1					4
52歳		1	2						3
53歳									0
54歳				2					2
55歳								1	1
56歳		1							1
57歳			1						1
58歳	1								1
59歳		1		2					3
60歳以上					9(9)			1(1)	10(10)
計	1	3	6	27	51(9)	27	39	2(1)	156(10)

※()内は、再任用職員を再掲

(4) 職員の階級別比較

令和5（2023）年4月1日

区 分	職員数 (人)	構成比 (%)	平均勤続年数 (年)	平均年齢 (歳)
消防監	1	0.7	40.0	58.0
うち女性				
消防司令長	3	1.9	37.7	55.7
うち女性				
消防司令	6	3.8	34.0	52.3
うち女性				
消防司令補	27	17.3	28.2	47.7
うち女性				
消防士長	51(9)	32.7	18.2	38.8
うち女性	2	1.3	13.5	34.5
消防副士長	27	17.3	8.8	28.1
うち女性	4	2.7	6.8	28.3
消防士	39	25.0	2.7	22.3
うち女性	3	1.9	2.0	22.7
事務吏員	2(1)	1.3	5.0	59.0
うち女性				
計	156(10)	100	15.4	35.6

※()内は、再任用職員を再掲

※平均勤続年数と平均年齢は再任用職員を含んだ数値（小数点第2位を四捨五入）

※事務吏員の平均勤続年数は消防本部における平均勤務年数

7 消防吏員の免許等取得状況

令和5（2023）年4月1日

種別		人数	種別	人数		
自動車 運転 免許	大型	118(8)	予 防	予防技術資格者 防火査察	34(2)	
	中型（大型取得者を除く）	11(1)		予防技術資格者 消防用設備	14(1)	
	準中型（大型・中型取得者を除く）	3		予防技術資格者 危険物	9	
	普通	153(9)		甲種防火管理者	39(9)	
	大型特殊	13(3)		甲種火薬類取扱責任者	1	
無線	第二級陸上特殊無線技士	40(9)	救 急	救急救命士	44(3)	
	第三級陸上特殊無線技士	108		指導救命士	4	
危 険 物	乙種	第1類	2	救急科	79	
		第2類	2	救急標準課程	24	
		第3類	6	救急I・II課程	18(9)	
		第4類	121(7)	応急手当指導員	149(9)	
		第5類	4	小型移動式クレーン技能講習	68(4)	
		第6類	4	小型車両系建設機械（整地等）	90(4)	
丙種（乙種第4類取得者を除く）		3		玉掛技能講習修了者	67(3)	
消 防 設 備 士	甲種	第1類	1	そ の 他	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	35(2)
		第2類	1		特定化学物質等作業主任者	7(2)
		第3類	1		小型船舶操縦士	44(4)
		第4類	0		潜水士	92(1)
		第5類	1		スクーバダイビングライセンス	19
	乙種	第1類	1		ライフセーバー	7
		第2類	0		第1種衛生管理者	13(2)
		第3類	1		防災士	6(1)
		第4類	3		足場組立等作業主任者	20
		第5類	1		ガス溶接技能講習修了者	25(5)
		第6類	4		アーク溶接業務特別教育修了者	6(1)
		第7類	1		電気工事士	2(1)

※（ ）内は、再任用職員を再掲

8 消防吏員の研修受講状況

区 分		年 度					
		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
消防 大学 校		幹部科				1	
		警防科			1		
		救助科					
		救急科					
		予防科					
		危険物科		1			
		火災調査科				1	
		新任教官科					
		NBCコース	1				
		女性活躍推進コース				1	
		査察業務マネジメントコース					
県消 防学 校		初任科	9	6	5	7	8
	専 科 教 育	警防科	1	2			2
		特殊災害科				2	
		予防査察科	2			2	2
		危険物科		2	2		1
		火災調査科	2		2	2	
		救助科	2	1	2	1	2
		救急科	7	6	4	4	5
	幹 部 教 育	初級幹部科		2			2
		中級幹部科	2			2	
	特 別 教 育	操法審査員研修	2	2			2
		高度救助コース	1	1	1	1	1
		救急救命士研修	1	1		2	1
		指導救命士研修		1			1
そ の 他		原子力防災基礎研修	2	2	3	3	1
		原子力災害対策要員研修	3	2	3	3	
		原子力災害現地対策本部図上演習		3	2		2
		NIRS放射線事故初動セミナー	1	1		1	1
		原子力災害時の医療に関わる 研修講師養成講座 (被ばく傷病者等搬送)	1				
		原子力施設における火災防護に関する研修			6		

9 消防吏員の表彰状況

年度	区分	消防庁長官 永年勤続功労章	全国消防協会 優良消防職員表彰	新潟県消防長会 優良消防職員表彰	新潟県知事 永年勤続功労章	全国消防長会 永年勤続功労章	日本消防協会 永年勤続功労章	新潟県消防協会 精勤章
平成25年度		2	1	2	4	10	2	5
平成26年度		2		3	10	1	1	13
平成27年度		1		5	1		1	1
平成28年度		1	1	4		3		3
平成29年度		1		5	3	1		6
平成30年度		2		4	1	3		8
令和元年度		1	1	5	3	3	2	12
令和2年度		1		2	3	3	3	11
令和3年度		1		2	3	3	3	10
令和4年度		1		2	4	2	3	11

10 消防力の基準と現有消防力の比較

	算定数 (署所)	整備数
署 所	5	5

		消防車両（非常用を除く）				消防職員		
		算定数 (台) ※非常用除 く	整備数 (台) ※非常用除く		算定数に 対する 比率 (%)	算定数 (人)	現員数 (人)	算定数に 対する 比率 (%)
乗換運用 台数								
消防隊員	消防ポンプ自動車	6	6	-	100	135	116(2)	85.9
	はしご自動車	2	2	乗換 2	100			
	化学消防車	3	2	乗換 2	66.7			
	特殊車等	7	7	乗換 7				
救急隊員	救急自動車	5	5	-	100			
救助隊員	救助工作車	1	1	-	100			
指揮隊員	指揮車	1	1	-	100			
通信員						8	8	100
予防要員						28	17(2)	60.7
専任の予防要員						22	11(2)	
警防要員をもって充てることができる予防要員の数						6	6	
総務事務等の執行のために必要な人員						21	21(6)	100
合計						186	156(10)	83.9

※算定数は令和4（2022）年度消防施設整備計画実態調査時点の数値

※整備数及び現員数は、令和5（2023）年4月1日現在の数値

※現員数の（ ）内は、再任用職員を再掲

※予防要員のうち「警防要員をもって充てることができる予防要員の数」の現員数は、算定数と同数とし
合計には含まない。

11 消防吏員の特殊勤務手当支給基準

令和5（2023）年4月1日

種 別	支給対象	支給単位	支給額
災害活動手当	自動車運転者	勤務1回につき	500円
	その他の職員	勤務1回につき	300円
救急業務活動手当	救急救命士	勤務1回につき	350円
	自動車運転者	勤務1回につき	250円
	その他の職員	勤務1回につき	170円
高所作業手当	災害現場で高さ15メートルを超える環境での業務に従事した職員	勤務1回につき	200円
夜間招集手当	午後9時から翌朝5時までの間、月2回以上招集された職員	2回目から勤務1回につき	1,000円
防疫等作業手当 (注)	新型コロナウイルス感染症に関する搬送等の業務に従事した職員	勤務1日につき	3,000円 ※1
			4,000円 ※2

(注) 防疫等作業手当は、消防吏員以外の職員も対象

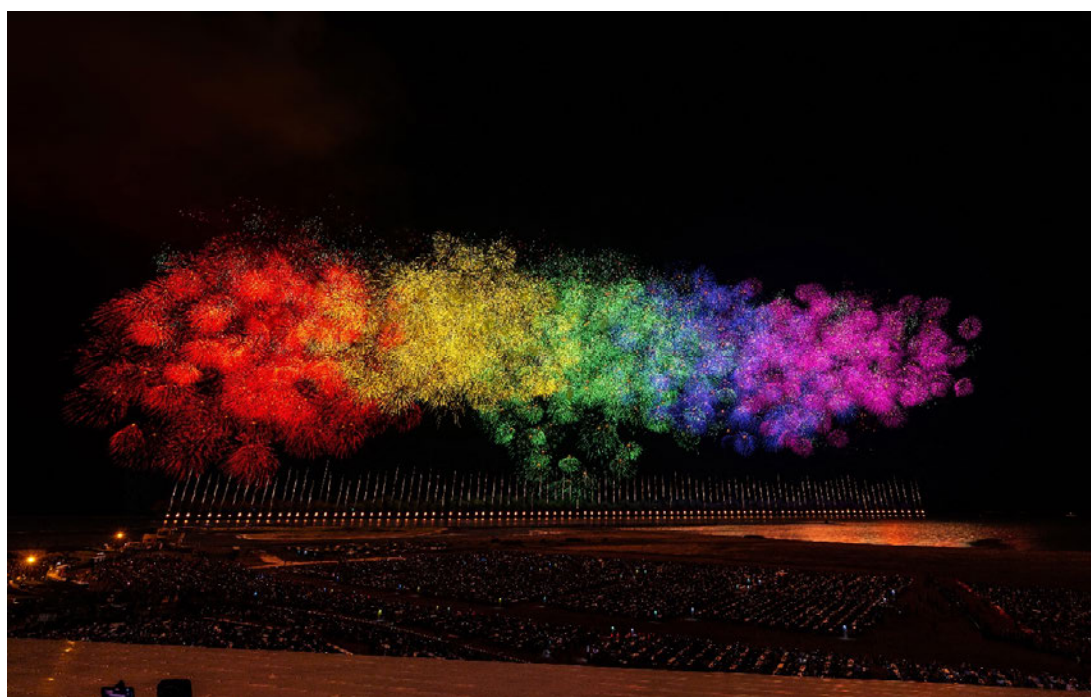
- ※1 感染症患者、感染の疑いのある者に接触する業務及び病原体が付着した物又は付着した疑いのある物の処理に関する業務
- ※2 ※1のうち、感染症患者の身体に接触して行う業務、感染症患者、感染の疑いのある者に長時間（4時間以上）にわたり接する業務

12 応援協定等

令和5（2023）年4月1日

協定等の名称	締結年月日	業務内容	協定先等の名称
新潟県広域消防 相互応援協定	当初：平成13年4月1日 平成17年9月1日	災害	上越地域 中越地域 下越地域 佐渡地域 } 消防本部
新潟県消防防災 ヘリコプター 応援協定	平成7年4月1日	災害	新潟県下の市町村及び消防事務 に関する一部事務組合
中部消防応援協定	当初：昭和28年11月25日 平成22年3月31日	災害	長岡市 三条市 燕・弥彦総合事務組合 見附市 加茂地域 小千谷市 十日町地域 魚沼市 南魚沼市
一部改正	平成29年1月1日	災害	同上
上越地域消防事務組合・ 柏崎市消防相互応援協定	当初：昭和47年9月30日 平成17年5月1日	災害	上越地域消防事務組合
一部改正	平成22年4月1日	災害	同上
高速自動車国道北陸自動 車道長岡西山間消防相互 応援協定	当初：昭和55年9月20日 平成17年4月1日	災害	長岡市
高速自動車国道北陸自動 車道米山柿崎間消防相互 応援協定	当初：昭和58年11月4日 平成22年4月1日	災害	上越地域消防事務組合
大規模災害等における柏 崎総合医療センターDM ATと柏崎市消防本部の 連携に関する協定	平成29年4月10日	災害	新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター
災害時における消防用水 の搬送に関する協定	平成29年4月11日	災害	柏崎地区生コンクリート 協同組合
柏崎市消防本部と北陸瓦 斯株式会社との火災予防 啓発の連携に関する協定	令和元年11月1日	火災予防	北陸瓦斯株式会社
災害時における石油燃料 の供給に関する協定	令和3年9月15日	災害	中村石油株式会社

火災予防



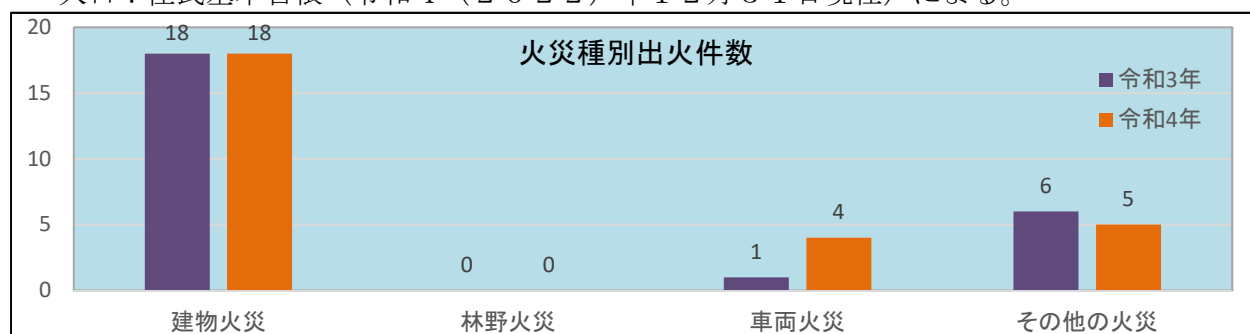
海の大花火大会 尺玉100発一斉打

1 火災の概況

区分	令和3年	令和4年	前年比較増減
出火件数	25	27	2
建物火災	18	18	0
林野火災	0	0	0
車両火災	1	4	3
その他の火災	6	5	△ 1
焼損棟数	23	22	△ 1
全焼	5	3	△ 2
半焼	1	4	3
部分焼	8	7	△ 1
ぼや	9	8	△ 1
建物焼損面積 (㎡)	1,637	872	△ 765
林野焼損面積 (a)	4	0	△ 4
死者数	0	4	4
負傷者数	1	1	0
り災世帯数	8	15	7
全損	2	5	3
半損	1	2	1
小損	5	8	3
り災人員数	18	27	9
損害額 (千円)	73,798	71,199	△ 2,599
建物火災	70,733	70,186	△ 547
林野火災	0	0	0
車両火災	433	974	541
その他の火災	2,632	39	△ 2,593
出火率 (件)	2.8	3.1	0.3

※出火率：人口1万人当たりの出火件数

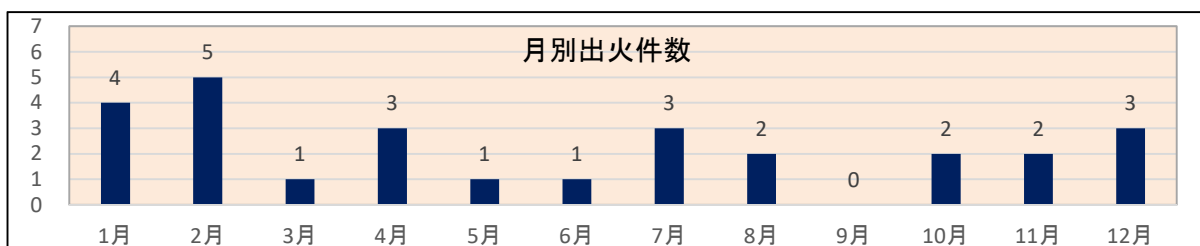
人口：住民基本台帳（令和4（2022）年12月31日現在）による。



2 火災総括表

令和4（2022）年

月 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		火災 種別 件数	建物火災	2	5		1		1	3	2		1	
林野火災														0
車両火災				1	1						1	1		4
その他の 火災	2				1	1						1		5
計	4		5	1	3	1	1	3	2	0	2	2	3	27
焼損 棟数	全焼		2					1						3
	半焼	1			1				1				1	4
	部分焼	1	1				1		3				1	7
	ぼや		2					3			1		2	8
焼損 面積	建物㎡	47	280		75			107	305				58	872
	林野 a													0
り災 世帯 数	全損		1					1	2				1	5
	半損				1				1					2
	小損	1	1				1	1	1		1		2	8
死傷 者数	死者		1					1	1			1		4
	負傷者								1					1
損害額 千円	建物	582	20,849		1,988		4	11,058	24,094		3		11,608	70,186
	林野													0
	車両			30	474						325	145		974
	その他	2			37									39
	計	584	20,849	30	2,499	0	4	11,058	24,094	0	328	145	11,608	71,199



3 市町村別火災発生状況及び住宅用火災警報器設置率

柏崎市 令和4(2022)年

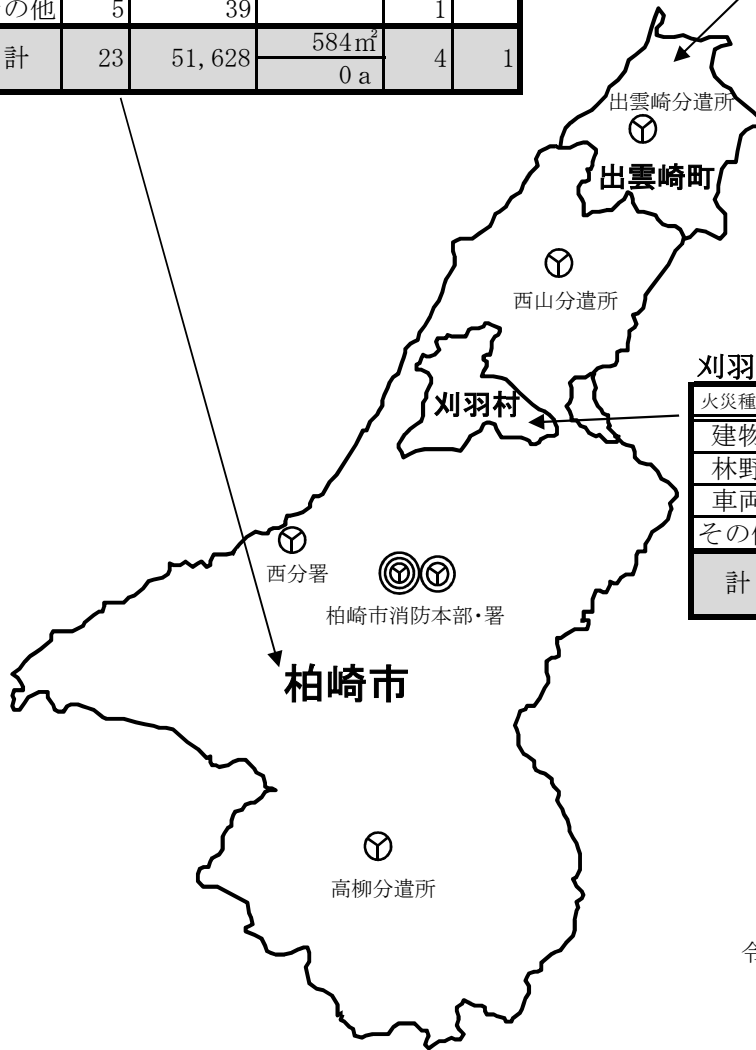
火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物	14	50,615	584	3	1
林野					
車両	4	974			
その他	5	39		1	
計	23	51,628	584m ² 0 a	4	1

出雲崎町 令和4(2022)年

火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物	1	18,970	213		
林野					
車両					
その他					
計	1	18,970	213m ² 0 a	0	0

刈羽村 令和4(2022)年

火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物	3	601	75		
林野					
車両					
その他					
計	3	601	75m ² 0 a	0	0



(注) 損害額の単位 千円

【住宅用火災警報器設置率】
令和4(2022)年6月1日時点公表値

設置率	条例適合率
87%	75%

※「設置率」とは、柏崎市火災予防条例で設置が義務付けられている寝室や階段のうち、一箇所以上設置されている世帯の割合
 ※「条例適合率」とは、柏崎市火災予防条例で設置が義務付けられている寝室や階段の全てに設置されている世帯の割合

4 原因別出火件数

令和4（2022）年

火災種別 区分		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計
		放火	2			1
配線器具	3				3	
たき火				2	2	
たばこ	2				2	
ストーブ	2				2	
電気機器	1			1	2	
灯火	1				1	
衝突の火花	1				1	
取灰	1				1	
内燃機関				1	1	
溶接機・切断機				1	1	
電灯・電話等の配線	1				1	
その他	1		3		4	
不明・調査中	3				3	
計	18	0	4	5	27	

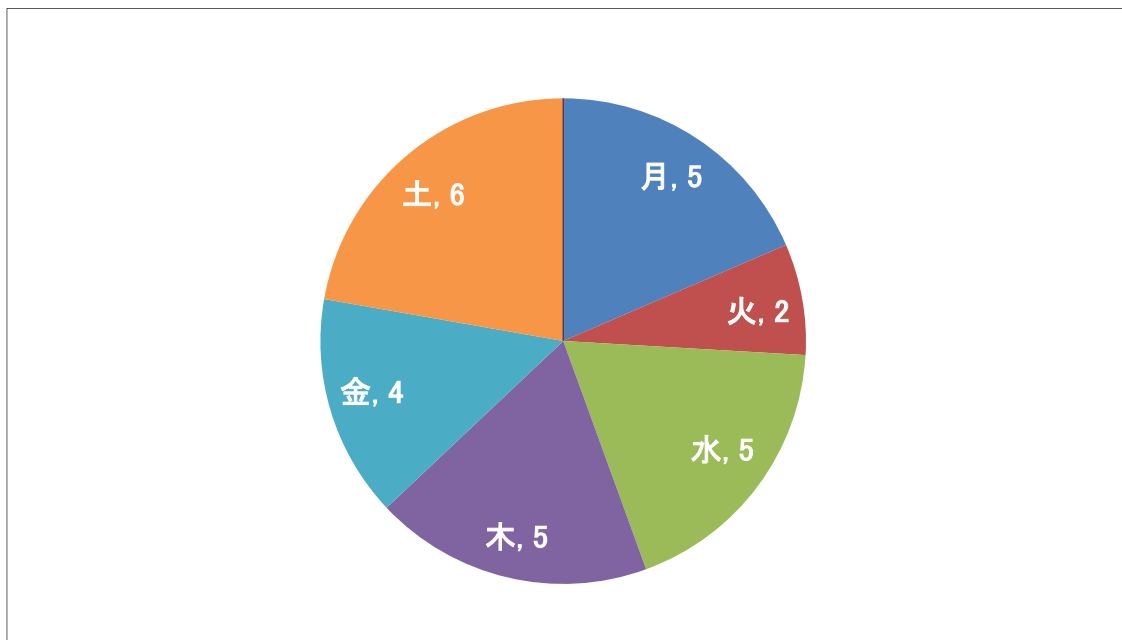
5 火災による死者数の推移

年齢別 年別	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	不明	計
	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	以上		
平成25年												1					1
平成26年																	0
平成27年															2		2
平成28年										1			2		1		4
平成29年											1						1
平成30年																	0
平成31年								1	1						1		3
令和2年								1						2	1		4
令和3年																	0
令和4年							1		1						2		4
計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	2	2	7	0	19

6 曜日別出火件数

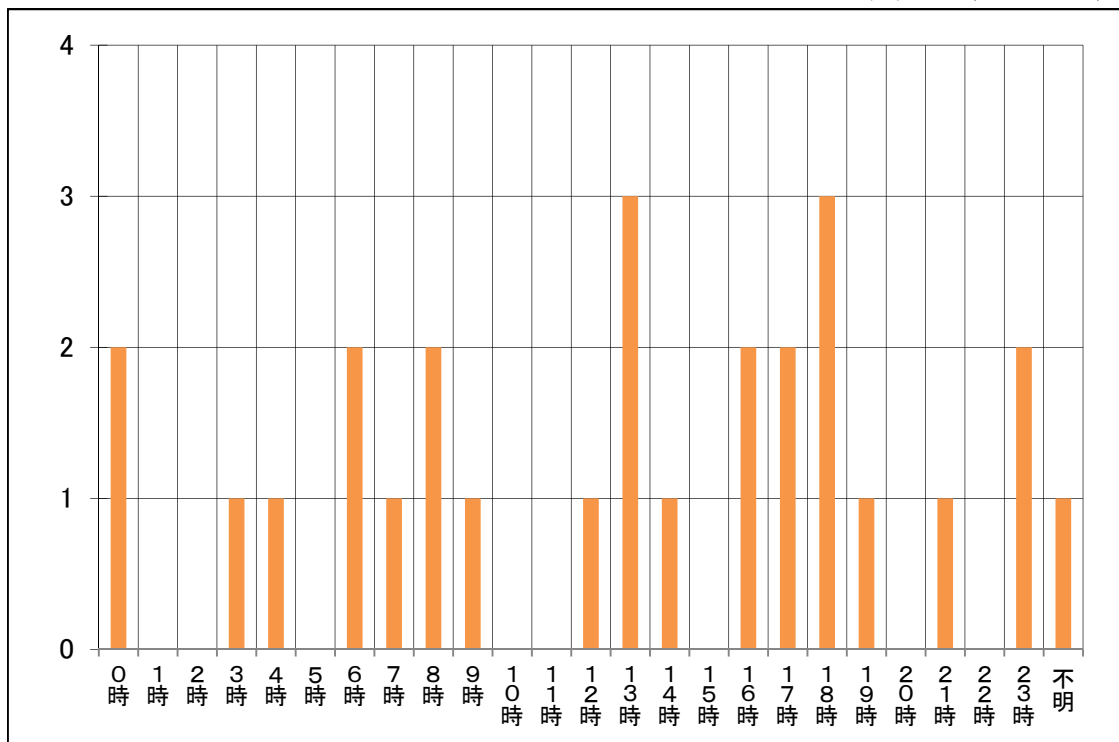
令和4（2022）年

	月	火	水	木	金	土	日	不明	計
出火件数	5	2	5	5	4	6	0	0	27



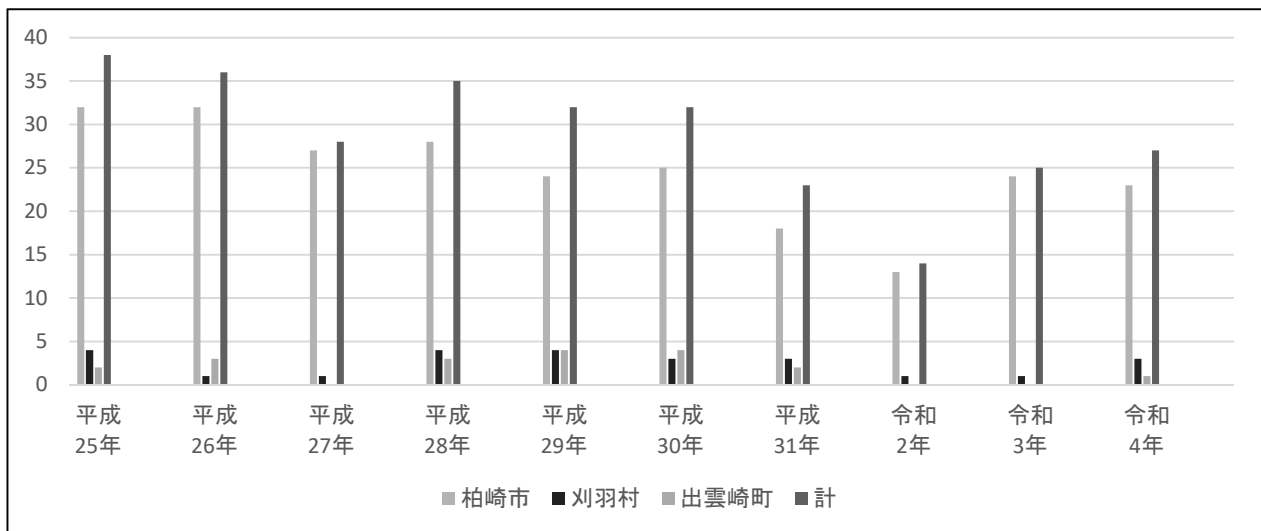
7 時間帯別出火件数

令和4（2022）年



8 市町村別出火件数の推移

市町村 年	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計
平成25年	32	4	2	38
平成26年	32	1	3	36
平成27年	27	1		28
平成28年	28	4	3	35
平成29年	24	4	4	32
平成30年	25	3	4	32
平成31年	18	3	2	23
令和 2年	13	1		14
令和 3年	24	1		25
令和 4年	23	3	1	27



9 用途別防火対象物数

令和5（2023）年4月1日

用途別			区分	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		4			4
	ロ	公会堂、集会場		166	26	10	202
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					0
	ロ	遊技場、ダンスホール		5			5
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					0
	ニ	カラオケボックスの類		1			1
(三)	イ	待合、料理店の類		13		1	14
	ロ	飲食店		115	3	6	124
(四)		百貨店、マーケットの類		147	2	1	150
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所		71	8	8	87
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		688	30	6	724
(六)	イ	(1) 特定病院	※1	2			2
		(2) 特定診療所	※2				0
		(3) 非特定医療機関（有床系）	※3	13			13
		(4) 非特定医療機関（無床系）	※4	34	1		35
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム他		43	2	3	48
		(2) 救護施設		3			3
		(3) 乳児院					0
		(4) 障害児入所施設		2			2
		(5) 障害者支援施設他		5			5
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム他		15	2	3	20
		(2) 更生施設					0
		(3) 助産施設、保育所他		28	1	3	32
		(4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設他		1			1
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設他		22	1	1	24
	ニ	幼稚園、特殊支援学校		9			9
(七)		小、中、高等学校、大学の類		89	3	7	99
(八)		図書館、博物館、美術館の類		11		1	12
(九)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類					0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		1			1
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場		2		1	3
(十一)		神社、寺院、教会の類		142	6	33	181
(十二)	イ	工場、作業場		557	42	24	623
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			1		1
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場		52	3	7	62
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫					0
(十四)		倉庫		397	31	7	435
(十五)		前各号に該当しない事業場		466	58	24	548
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		275	2	14	291
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		81	4	4	89
(十六の二)		地下街					0
(十六の三)		地下街に準ずるもの					0
(十七)		文化財保護法による重要文化財等		10	1		11
(十八)		延長50メートル以上のアーケード					0
計				3,470	227	164	3,861

(注) 対象物数は、延べ面積150㎡以上〔(十七)を除く。〕

※1 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができ体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。）

- (1) 診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省令で定める診療科名をいう。※2(1)において同じ。）を有すること。
- (2) 医療法（昭和23年法律第205号）第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項第5号に規定する一般病床を有すること。

※2 次のいずれにも該当する診療所

- (1) 診療科名中に特定診療科名を有すること。
- (2) 4人以上の患者を入院させるための施設を有すること。

※3 病院（※1に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（※2に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所

※4 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所

10 市町村別用途別中高層防火対象物数

用途別	市町村名 階数	管内								計	
		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上		
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1								1
	ロ	公会堂、集会場		1							1
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類									0
	ロ	遊技場、ダンスホール									0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									0
	ニ	カラオケボックスの類									0
(三)	イ	待合、料理店の類	1								1
	ロ	飲食店	1								1
(四)		百貨店、マーケットの類									0
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	4	1			1	1	1	1	9
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	32	30	1	2			1	1	67
(六)	イ	(1) 特定病院 ※1				1					1
		(2) 特定診療所 ※2									0
		(3) 非特定医療機関（有床系） ※3	3	3			1				7
		(4) 非特定医療機関（無床系） ※4									0
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム他	1	2							3
		(2) 救護施設									0
		(3) 乳児院									0
		(4) 障害児入所施設									0
		(5) 障害者支援施設他									0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム他									0
		(2) 更生施設									0
		(3) 助産施設、保育所他									0
		(4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設他									0
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設他									0
ニ	幼稚園、特殊支援学校									0	
(七)		小、中、高等学校、大学の類	11								11
(八)		図書館、博物館、美術館の類									0
(九)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類									0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									0
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場									0
(十一)		神社、寺院、教会の類									0
(十二)	イ	工場、作業場	3	1							4
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	1								1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫									0
(十四)		倉庫		1							1
(十五)		前各号に該当しない事業場	12	3	2					1	18
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	7	5				2			14
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	1							2
(十七)		文化財保護法による重要文化財等									0
		計	78	48	3	3	2	3	2	3	142

※1 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。）

- (1) 診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省で定める診療科名をいう。※2(1)において同じ。）を有すること。
- (2) 医療法（昭和23年法律第205号）第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項第5号に規定する一般病床を有すること。

柏崎市									刈羽村				出雲崎町			
4	5	6	7	8	9	10	11	計	4	5	6	計	4	5	6	計
階	階	階	階	階	階	階	階以上		階	階	階		階	階	階	
1								1				0				0
								0		1		1				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
1								1				0				0
1								1				0				0
								0				0				0
4	1			1	1	1	1	9				0				0
31	30	1	2				1	66	1			1				0
			1					1				0				0
								0				0				0
3	3			1				7				0				0
								0				0				0
1	2							3				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
9								9				0	2			2
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
								0				0				0
3	1							4				0				0
								0				0				0
1								1				0				0
								0				0				0
	1							1				0				0
8	3	2					1	14	4			4				0
7	5							14				0				0
1	1							2				0				0
								0				0				0
71	47	3	3	2	3	2	3	134	5	1	0	6	2	0	0	2

- ※2 次のいずれにも該当する診療所
 - (1) 診療科名中に特定診療科名を有すること。
 - (2) 4人以上の患者を入院させるための施設を有すること。
- ※3 病院（※1に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（※2に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所
- ※4 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所

11 建築確認申請件数の推移

年度	確認申請		許可申請		計画通知	総数	住宅の確認申請通知
	同意	不同意	同意	不同意			
平成30年度	124		22		5	151	273
令和元年度	129		21		6	156	285
令和2年度	102		7		12	121	196
令和3年度	108		6		6	120	195
令和4年度	107		12		7	126	204

12 月別建築確認申請件数

令和4（2022）年度

月別	確認申請		許可申請		計画通知	総数	住宅の確認申請通知
	同意	不同意	同意	不同意			
4月	7		2			9	10
5月	12		2			14	33
6月	19		5		3	27	28
7月	12					12	14
8月	11				1	12	15
9月	9		1		1	11	16
10月	15					15	21
11月	6					6	6
12月	4				1	5	10
1月	1		1			2	13
2月	7					7	21
3月	4		1		1	6	17
計	107	0	12	0	7	126	204

13 消防用設備等設置届出件数

令和4（2022）年度

設置別	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
屋内消火栓設備											2		1	3
スプリンクラー設備	3		1		1						1		1	7
ハロゲン化物消火設備										1				1
粉末消火設備	1						1			1	1		1	5
屋外消火栓設備	1												5	6
動力消防ポンプ設備													1	1
自動火災報知設備	7	2	6	5	14	8	8	13	7	4	9	18	101	
ガス漏れ火災警報設備								1						1
消防機関へ通報する 火災報知設備										1			1	2
非常警報設備										1		3		4
非常放送設備				1	1	1							4	7
避難器具												1	1	2
誘導灯	7		3	2	4	6	4	5	7	7	7	11	63	
パッケージ型 消火設備					1						1		1	3
計	19	2	10	8	21	16	13	18	17	17	20	45	206	

14 危険物施設数

令和5（2023）年4月1日

区分		年別				
		平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
貯蔵所	屋内貯蔵所	41	41	40	40	40
	屋外タンク貯蔵所	52	52	52	50	50
	屋内タンク貯蔵所	6	6	6	6	7
	地下タンク貯蔵所	91	87	89	90	89
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	移動タンク貯蔵所	81	79	82	81	82
	屋外貯蔵所	3	3	3	3	3
取扱所	給油取扱所	67	66	66	66	63
	第1種販売取扱所	2	2	2	2	2
	第2種販売取扱所	1	1	1	1	1
	一般取扱所	105	103	102	102	102
計		450	441	444	442	440

15 市町村別危険物施設数

令和5（2023）年4月1日

区分		市町村名			計
		柏崎市	刈羽村	出雲崎町	
貯蔵所	屋内貯蔵所	33	3	4	40
	屋外タンク貯蔵所	39	8	3	50
	屋内タンク貯蔵所	7			7
	地下タンク貯蔵所	74	4	11	89
	簡易タンク貯蔵所	1			1
	移動タンク貯蔵所	75	6	1	82
	屋外貯蔵所	3			3
取扱所	給油取扱所	53	5	5	63
	第1種販売取扱所	2			2
	第2種販売取扱所	1			1
	一般取扱所	73	19	10	102
計		361	45	34	440

16 危険物施設申請届出件数

令和4（2022）年度

区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
設置許可			1		1	4			1			1	8	
変更許可	2	2	2	1	1	1	1	2	2	3	2	2	21	
設置完成検査		1		1		2			1		1		6	
変更完成検査	2	1	1	4	2	1	1		2	3	2	5	24	
完成検査													0	
前検査													1	
製造所等仮使用承認	1	2	1	1	1		1	2		2	1	2	14	
製造所等廃止届	1		1	1		1		4				1	9	
製造所等譲渡引渡届	1					1		1		1	1	1	6	
品名、数量又は 指定数量の倍数変更届	4			1		2		1					8	
仮貯蔵承認 仮取扱承認		3	2	5	1	1	2	1			1		16	
危険物保安監督者 選任・解任届	8	2	4	3		2	1	3		5			28	
計	19	11	12	17	7	15	6	14	6	14	8	12	141	

※移動タンク貯蔵所の変更許可数は、常置場所の変更に伴う転出、転入を含む。

17 火薬類・武器（猟銃）施設数及び届出件数

【火薬類】 施設数：令和5（2023）年4月1日
届出件数：令和4（2022）年度

区分		項目	施設数	届出件数
		製造（煙火）	1	3
販売		産業火薬類	1	1
		実包・猟用火薬類		
		船舶用火工品		
		建設用鋸打ち銃用空包		
		煙火		
		競技用紙雷管	1	
貯蔵棟数		一級火薬庫	4	8
		二級火薬庫		
		三級火薬庫		
		実包火薬庫		
		煙火火薬庫	2	2
		がん具煙火貯蔵庫		
		庫外貯蔵所	5	1
計			14	15

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

【武器（猟銃）】 施設数：令和5（2023）年4月1日
届出件数：令和4（2022）年度

区分		項目	施設数	届出件数
販売		猟銃	1	1

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

18 火薬類許可件数

令和4（2022）年度

区分	譲渡	譲受	譲受・消費	煙火消費	廃棄	火薬庫設置等	販売	製造等	計
件数	6		2	3					11

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

19 高圧ガス保安法事業所数及び申請届出件数

事業所数：令和5（2023）年4月1日

許可件数、完成検査件数、届出件数：令和4（2022）年度

用途別	区分	事業所数	許可件数		完成検査件数		届出件数
			設置登録	変更更新	設置	変更	
第1種製造者	コンビナート						
	一般ガス	5					4
	LPガス	1					3
	一般・LP						
	冷凍	1					
第2種製造者		65	—		—		11
販売業者	一般ガス	46	—		—		9
	LPガス	5	—		—		1
	一般・LP	6	—		—		3
	冷凍のみ		—		—		
高圧ガス貯蔵所	第1種貯蔵所	7	1	1	1	1	2
	第2種貯蔵所	13	—		—		2
特定高圧ガス消費者		6	—		—		3
容器検査所		1			—		2
計		156	1	1	1	1	40

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

20 高圧ガス保安検査受検数

令和4（2022）年度

液化石油ガス製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	
	指定保安検査機関	1
一般高圧ガス製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	
	指定保安検査機関	4
冷凍関係製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	
	指定保安検査機関	

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

21 液化石油ガス法事業所数及び申請届出件数

事業所数：令和5（2023）年4月1日

許可件数、完成検査件数、届出件数：令和4（2022）年度

用途別 区分	事業所数	許可件数		完成検査件数		届出件数
		登録 認定 設置	更新 変更	設置	変更	
販売所	3			—	—	3
保安機関	3			—	—	3
充填設備	1					2
特定供給設備	2	2				1
設備工事事業	29	—	—	—	—	6
計	38	2	0	0	0	15

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

22 液化石油ガス法保安検査受検数

令和4（2022）年度

充填設備	市町村	
	指定保安検査機関	1

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

警 防



松雲山莊

1 緊急通報等受付状況

令和4（2022）年

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災通報	119番		2	1		9		1				1	2	16
	携帯119	2	2	1		2	2		3		2	3	4	21
	携帯転送													0
	一般電話		1					1	1	1				4
	警察電話					1			2	1	1			5
	高速管制													0
	かけつけ													0
	その他	1	1					1						
救急通報	119番	179	177	158	147	177	158	188	205	165	141	185	275	2,155
	携帯119	123	116	116	95	115	116	118	199	112	115	134	158	1,517
	携帯転送			2	1	1		1	3			2		10
	一般電話	37	36	22	25	29	30	32	39	32	21	39	44	386
	警察電話	12	4	9	10	7	9	11	17	8	5	6	15	113
	高速管制								1	1	1			3
	かけつけ	1			2	1	2	3	4	2	2			17
	その他	5		9	6	9	2	5	6	3	2	1	5	53
その他災害	119番	17	13	22	18	20	19	14	15	20	5	5	22	190
	携帯119	11	9	20	22	13	23	20	22	14	9	17	20	200
	携帯転送			1	1				1					3
	一般電話	6	9	6	9	5	7	5	10	11	6	16	14	104
	警察電話	2		5	7	5	5	6	3	7	2	6	6	54
	高速管制								1		2			3
	かけつけ													0
	その他	5	3	20	9	17	6	10	10	5	7	6	2	100
その他の 119番通報	問い合わせ	18	16	17	21	19	27	20	42	23	21	22	37	283
	試験	15	36	43	34	32	46	31	37	39	30	30	24	397
	いたずら	2			1	1		1		2		2		9
	まちがい	21	15	8	24	11	9	14	23	12	14	23	12	186
	その他	14	8	8	5	7	11	16	15	19	15	8	19	145
市民案内・災害情報 (消防テレホンサービス)		6,907	10,451	10,489	13,138	8,246	10,074	9,351	14,467	7,977	9,086	11,079	13,236	124,501

2 火災出場状況

令和4（2022）年

市町村・署所別 出場内容	市町村別件数					署所別出場件数					
	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	管外	計	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	計
炎上火災	14	2	1		17	17 76 260 〔21〕	11 13 48 〔7〕		11 11 55 〔3〕	4 5 19 〔2〕	43 105 382 〔33〕
出火消し止め、事後聞知	9	1			10	10 21 66	4 7 24	4 4 20			18 32 110
計	23	3	1	0	27	27 97 326 〔21〕	15 20 72 〔7〕	0 0 0 〔0〕	15 15 75 〔3〕	4 5 19 〔2〕	61 137 492 〔33〕

3 その他の災害出場状況

令和4（2022）年

市町村・署所別 出場内容	市町村別件数					署所別出場件数					
	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	管外	計	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	計
非火災	23		2		25	15 34 114	10 12 45	1 1 4	9 9 45	1 1 4	36 57 212
誤報・誤認	9	1	2		12	9 26 86	3 4 16	1 1 4	3 3 15	2 3 8	18 37 129
油漏洩	28	2	3		33	17 18 56	8 8 31	3 5 12	3 3 9	3 4 8	34 38 116
ガス漏洩・異臭					0						0 0 0
自然災害	12	1	1		14	6 7 26	5 5 21	1 2 4	1 2 5	1 2 4	14 18 60
自火報発報・他警報器発報	56	10	4		70	58 70 274	44 44 172	1 1 4	24 24 119	5 5 20	132 144 589
捜索	20		1		21	15 27 87	3 3 12	2 4 8	4 8 23	1 2 4	25 44 134
救急支援	159	9	6		174	74 74 291	68 68 261	2 2 6	25 25 57	5 5 10	174 174 625
119番無応答	11		1		12	4 7 25	6 11 38	2 4 8	1 2 5		13 24 76
焚火	10	1	1	1	13	6 6 24	2 2 8		4 7 21	1 2 4	13 17 57
その他・調査	9	1	2		12	4 6 18	3 3 11		6 9 25	2 4 8	15 22 62
へりポート支援	237	11	8		256	171 175 705	41 41 157	4 4 4	35 41 101	7 9 17	258 270 984
計	574	36	31	1	642	379 450 1,706	193 201 772	17 24 54	115 133 425	28 37 87	732 845 3,044

4 警戒業務運行状況

令和4（2022）年

運行内容	署所別出場件数					計
	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	
火災警戒	4	1		2	1	8
	4	1		4	2	11
	20	3		11	4	38
強風等警戒	6	7	6	8	5	32
	6	10	12	16	10	54
	22	37	24	40	21	144
災害警戒	1	1		1	1	4
	1	1		2	2	6
	4	4		5	4	17
年末年始特別警戒	6	6	6	6	6	30
	6	7	12	12	12	49
	21	28	24	32	25	130
催物警備	4					4
	8					8
	34					34
特命警戒	18	18	17	17	18	88
	22	29	34	33	35	153
	54	103	68	85	73	383
計	39	33	29	34	31	166
	47	48	58	67	61	281
	155	175	116	173	127	746

(1) 火災警戒

ガス漏れその他火災の発生するおそれがある場合の、広報及び打鐘等の業務運行

(2) 強風等警戒

火災警報等が発令された場合又はこれに準ずる気象状況時の、広報及び打鐘等の業務運行

(3) 災害警戒

風水害等の災害に対して警戒の必要がある場合又は警報等が発表された場合の、広報及び打鐘等の業務運行

(4) 年末年始特別警戒

12月29日から翌年1月3日までの間の、広報及び打鐘等の業務運行

(5) 催物警備

催物等の行事に対して必要と認められるときの、立入検査及び警備等の業務運行

(6) 特命警戒

消防長又は消防署長が特に命ずるときの、広報及び打鐘等の業務運行

5 各種訓練等の状況

令和4（2022）年

訓練区分 本部・署（所）		消 防 訓 練	放 水 訓 練	地 形 走 行 訓 練	ポ ン プ 操 法 訓 練	規 律 訓 練	実 技 訓 練	そ の 他	計
出 場 回 数	本部・署	15	76	94	5	20	319	529	
	西分署	5	64	108	9	14	407	607	
	高柳分遣所	4	64	92	15	13	491	679	
	西山分遣所	2	62	75	13	12	167	331	
	出雲崎分遣所	2	59	102	15	17	261	456	
	計	28	325	471	57	76	1,645	2,602	
出 場 台 数	本部・署	33	97	129	3		122	384	
	西分署	5	58	174	2		110	349	
	高柳分遣所	7	92	178			56	333	
	西山分遣所	2	70	145			36	253	
	出雲崎分遣所	3	97	204			38	342	
	計	50	414	830	5	0	362	1,661	
出 場 人 員	本部・署	131	442	408	47	284	1,675	2,987	
	西分署	31	364	630	61	90	2,273	3,449	
	高柳分遣所	18	255	369	59	53	1,908	2,662	
	西山分遣所	18	292	378	68	60	768	1,584	
	出雲崎分遣所	8	224	414	58	65	892	1,661	
	計	206	1,577	2,199	293	552	7,516	12,343	

消防訓練 ————— 本部・署の合同訓練、分遣所と役場・消防団の合同訓練

放水訓練 ————— 放水したもの全て（小型ポンプも含む）

地形走行訓練 ————— 水利・道路調査、水利整備、水利確保、走行訓練

ポンプ操法訓練 ————— ポンプ車操法、小型ポンプ操法

規律訓練 ————— 消防訓練礼式、通常点検

実技訓練・その他 ————— その他の訓練全て

6 救急総括表

令和4（2022）年

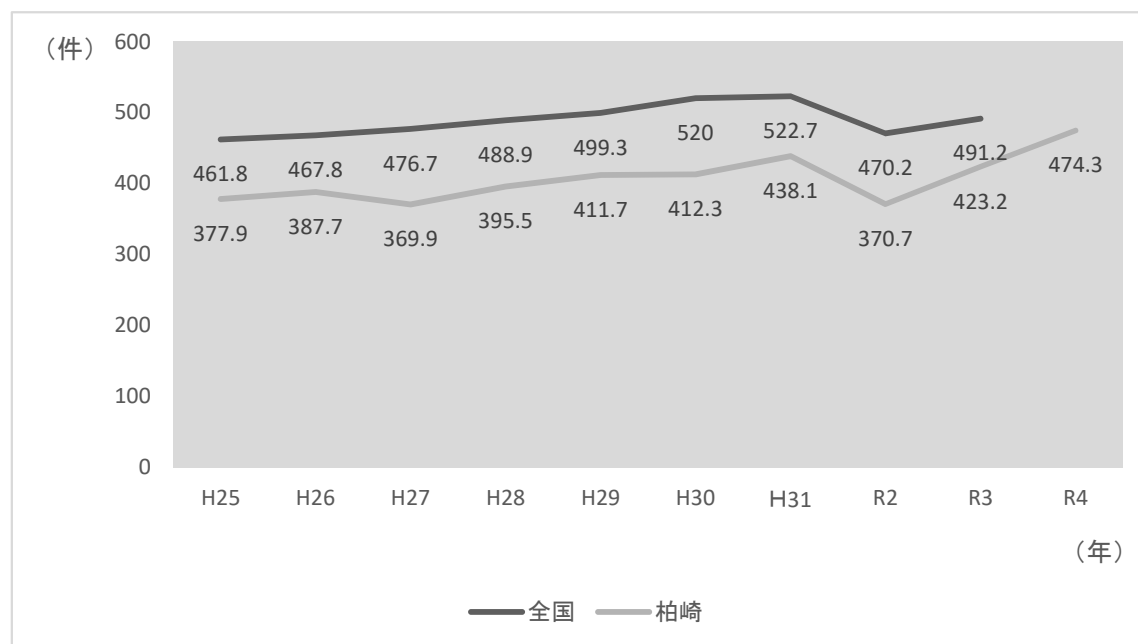
市町村	区分	事故種別													計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院	医師	資器材		その他
柏崎市	出場件数	13		8	178	39	26	644	12	26	2,453	351	31		42	3,823
	ドクヘリ件数	1		1	36	8	2	37		2	185	13				285
	不搬送件数	12		5	25		2	28	3	13	151	1	31		39	310
	搬送人員	1		3	163	39	26	618	10	13	2,303	350			3	3,529
刈羽村	出場件数	2		1	11	3	8	30		1	120	1	2		2	181
	ドクヘリ件数				1	2	1	6		1	9					20
	不搬送件数	2		1							8		2		2	15
	搬送人員				12	3	8	30		1	112	1				167
出雲崎町	出場件数	3		2	15	6	1	41		2	186	5	1		3	265
	ドクヘリ件数							3		1	7					11
	不搬送件数	3		2	3	1					9		1		3	22
	搬送人員				14	5	1	41		2	177	5				245
管外	出場件数				1											1
	ドクヘリ件数															0
	不搬送件数				1											1
	搬送人員															0
計	出場件数	18	0	11	205	48	35	715	12	29	2,759	357	34	0	47	4,270
	ドクヘリ件数	1	0	1	37	10	3	46	0	4	201	13	0	0	0	316
	不搬送件数	17	0	8	29	1	2	28	3	13	168	1	34	0	44	348
	搬送人員	1	0	3	189	47	35	689	10	16	2,592	356	0	0	3	3,941

※ドクヘリ件数…当本部がドクターヘリを要請した件数

7 市町村別救急出場件数の推移

市町村	区分	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
柏崎市	出場件数	3,522	3,774	3,177	3,493	3,823
	搬送人員	3,330	3,564	2,975	3,227	3,529
刈羽村	出場件数	181	188	131	153	181
	搬送人員	170	167	121	141	167
出雲崎町	出場件数	251	242	249	258	265
	搬送人員	234	238	242	250	245
管外	出場件数	10	8	7	5	1
	搬送人員		5	5	3	
計	出場件数	3,964	4,212	3,564	3,909	4,270
	搬送人員	3,734	3,974	3,343	3,621	3,941
指数	出場件数	100.0	106.3	89.9	98.6	107.7
	搬送人員	100.0	106.4	89.5	97.0	105.5

8 人口1万人当たりの救急出場件数の推移

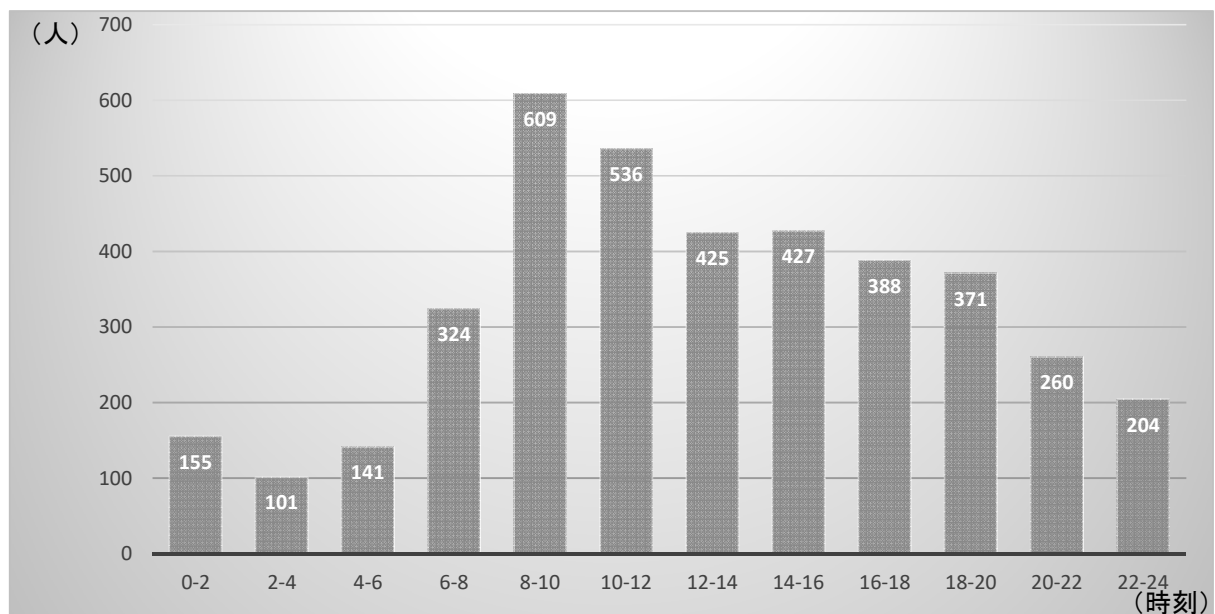


※令和5（2023）年7月末時点において、令和4（2022）年の全国の救急出場件数は未発表のため未掲載

9 覚知時刻別搬送人員

令和4（2022）年

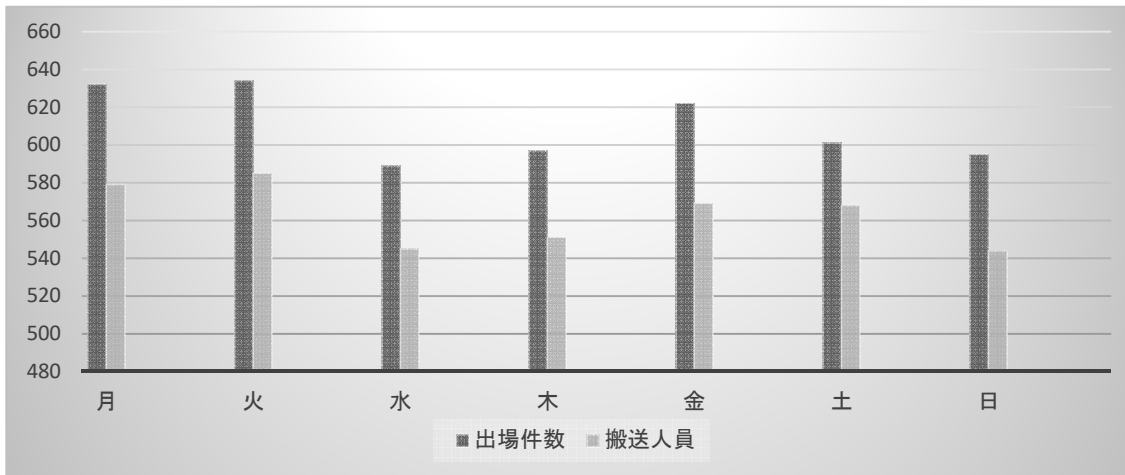
覚知時刻 事故種別	覚知時刻												計
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
火災									1				1
自然災害													0
水難事故						1		1	1				3
交通事故	4	1	2	16	25	23	21	36	39	14	5	3	189
労働災害		1		1	10	9	6	11	2	4	1	2	47
運動競技	1			1	4	13	5	7	1	2	1		35
一般負傷	21	16	24	60	103	93	72	74	78	78	44	26	689
加害	1				2				4	2	1		10
自損行為	1		1	1	1	1	1	3	4	1	1	1	16
急病	125	79	112	244	387	312	258	250	218	256	196	155	2,592
その他	2	4	2	1	77	84	62	45	40	14	11	17	359
計	155	101	141	324	609	536	425	427	388	371	260	204	3,941



10 曜日別救急出場件数及び搬送人員

令和4（2022）年

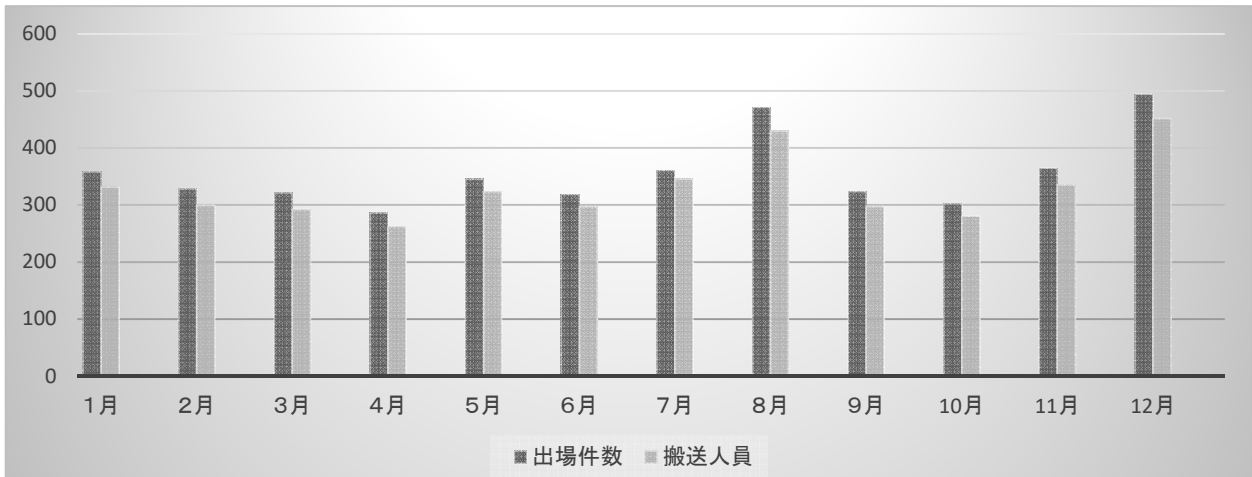
	月	火	水	木	金	土	日	計
出場件数	632	634	589	597	622	601	595	4,270
搬送人員	579	585	545	551	569	568	544	3,941



11 月別救急出場件数及び搬送人員

令和4（2022）年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出場件数	358	328	321	286	345	318	360	471	323	302	364	494	4,270
搬送人員	331	299	292	262	323	297	345	429	297	280	335	451	3,941



12 医療機関別搬送人員

令和4（2022）年

	医療機関					その他の場所	計
	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所		
告示	516	15	2,748	489			3,768
非告示	2	4		71	96		173
計	518	19	2,748	560	96	0	3,941

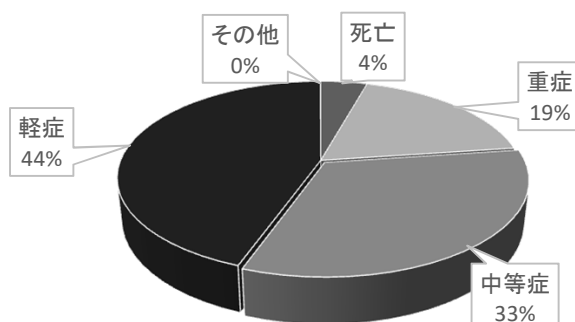
※医療機関の分類

- 1 「国立」とは、開設者が国（公社、労働者健康福祉機構、独立行政法人等を含む。）であるもの
- 2 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの
- 3 「公的」とは、開設者が次の者であるもの
 - (1) 国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第83条に規定する国民健康保険団体連合会及び国民健康保険法施行法（昭和33年法律第193号）第2条の規定により、国民健康保険法の施行後も引き続き国民健康保険を行う普通国民健康保険組合
 - (2) 日本赤十字社
 - (3) 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - (4) 全国厚生農業協同組合の会員である厚生（医療）農業協同組合連合会
 - (5) 社会福祉法人北海道社会事業協会
- 4 「その他の場所」とは、接骨院等及びヘリポートを含む。

13 事故種別傷病程度別搬送人員

令和4（2022）年

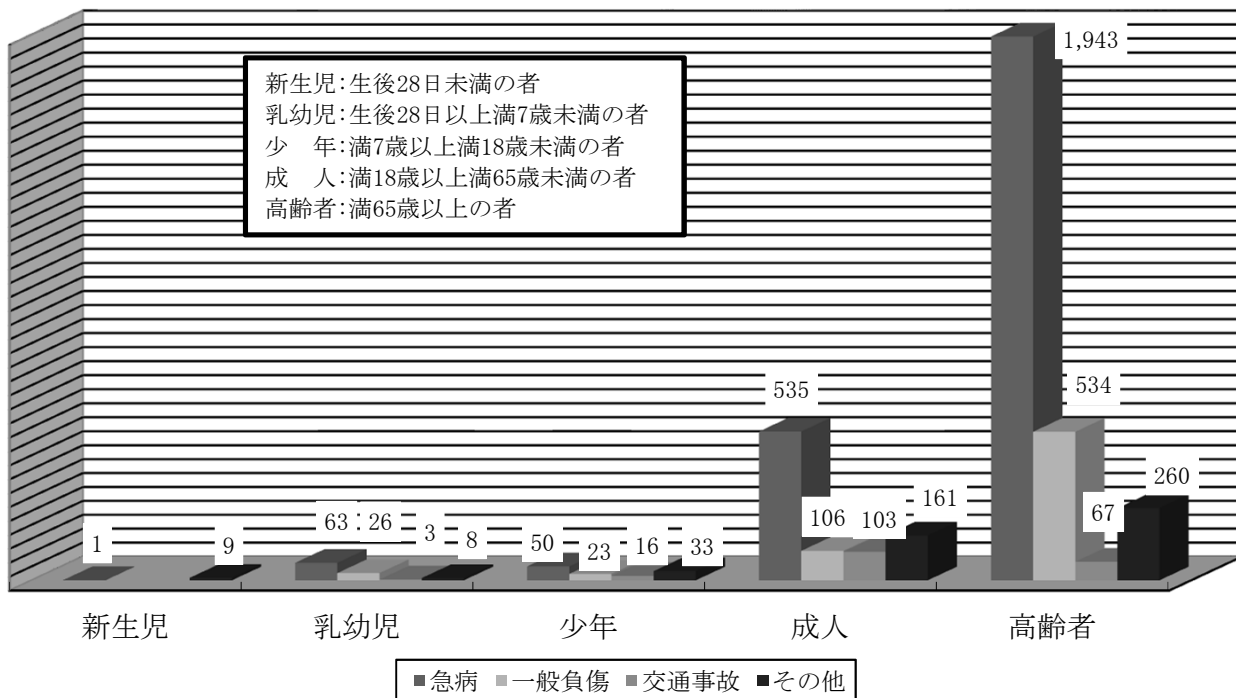
事故種別	傷病程度					合計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
火災				1		1
自然災害						0
水難事故	2		1			3
交通事故	6	20	25	138		189
労働災害		7	14	26		47
運動競技		1	6	28		35
一般負傷	8	196	139	346		689
加害		1		9		10
自損行為	4	4	4	4		16
急病	136	417	927	1,111	1	2,592
転院搬送	1	146	173	36		356
その他				1	2	3
合計	157	792	1,289	1,700	3	3,941
構成比	4.0	19.0	33.0	44.0	0.0	100.0



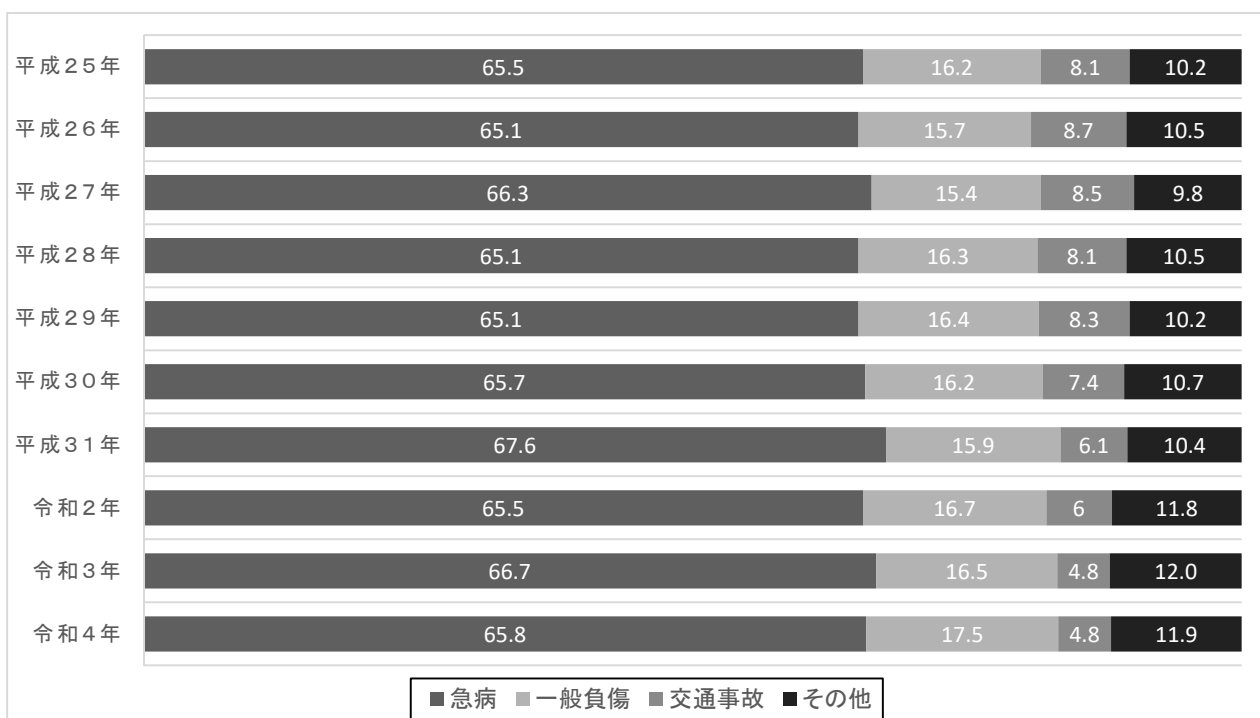
14 年齢区別事故種別搬送人員

令和4（2022）年

	急病	一般負傷	交通事故	その他	計
新生児	1			9	10
乳幼児	63	26	3	8	100
少年	50	23	16	33	122
成人	535	106	103	161	905
高齢者	1,943	534	67	260	2,804
計	2,592	689	189	471	3,941



15 事故種別搬送人員構成比の推移

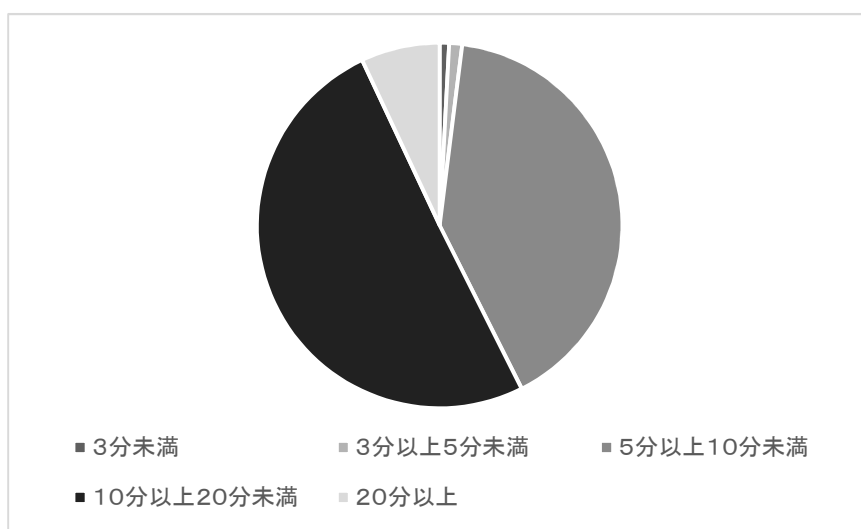


16 現場到着所要時間別出場件数

令和4(2022)年

現場到着時間(分)	件数
3分未満	36
3分以上5分未満	49
5分以上10分未満	1,733
10分以上20分未満	2,154
20分以上	298
計	4,270

現場到着所要時間(分)		
最短	最長	平均
1	126	11.5

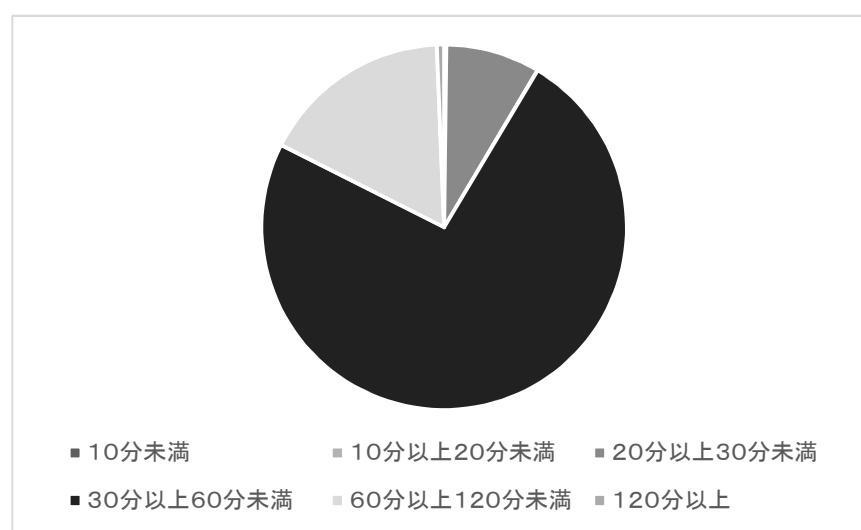


17 収容所要時間別搬送人員

令和4(2022)年

収容所要時間(分)	人員
10分未満	
10分以上20分未満	8
20分以上30分未満	329
30分以上60分未満	2,912
60分以上120分未満	667
120分以上	25
計	3,941

収容所要時間(分)		
最短	最長	平均
16	248	46.5



18 救急隊員の行った応急処置件数

令和4（2022）年

種別・処置対象搬送人員 処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
		2,592	189	689	469
止血	17	13	73	14	117
固定	4	63	38	16	121
人工呼吸	30				30
酸素吸入	972	33	72	133	1,210
保温	2,434	157	618	421	3,630
被覆	15	31	154	29	229
胸骨圧迫					0
心肺蘇生	107	5	6	6	124
うち自動式胸骨圧迫器	100	3	5	5	113
在宅療法継続	183	3	29	10	225
ショックパンツ					0
血圧測定	2,435	181	666	436	3,718
心音・呼吸音聴取	1,625	138	246	166	2,175
血中酸素飽和度測定	2,484	184	682	458	3,808
心電図伝送等	2,514	167	629	412	3,722
気道確保（用手）	181	6	10	14	211
うち経鼻エアウェイ					0
うち喉頭鏡、鉗子等					0
○ うちラリゲアルマスク等	37	2	2	1	42
○ 気管挿管					0
除細動	5	2			7
○ 静脈路確保	C P A前	21	1		22
	C P A後	57	2	4	4
○ 薬剤投与	22	2	4		28
血糖測定	56			2	58
○ ブドウ糖投与	5				5
その他	2,449	181	676	356	3662
計	15,616	1,169	3,907	2,477	23,169
うち医師の指示等を必要とする応急処置の件数	142	7	10	5	164

※1 本表は傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った応急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数を計上したものである。

2 ○は医師の指示等を必要とする応急処置の項目である。

3 その他の処置とは、検温、嘔吐処置、清拭等他に分類されないものである。

19 救急救命士の救急自動車搭乗状況

令和4（2022）年

区分		件数及び搭乗率
全救急出場件数	A	4,270
全体における救命士搭乗件数	B	4,252
全体における救命士の搭乗率	B / A	99.6%

※令和4（2022）年12月31日時点において、救急救命士有資格者45人のうち、救急救命士として業務を行っている救急隊員は32人

20 応急手当普及啓発活動の状況

令和4（2022）年

区分	普通救命講習					上級救命講習	救命入門	普及員講習 I	普及員再講習	指導員講習 II	その他の講習	計
	I			II	III							
	I	e-ラーニング	ステップアップ									
講習回数	22 (3)	1			10		30	2	4		57 (40)	126 (43)
受講者数	451 (80)	6			197		523	23	65		1796 (1594)	3061 (1674)

※（ ）は普及員による講習回数と受講者数

21 管内医療機関数

令和5（2023）年4月1日

医療機関数														
救急告示医療機関					その他の医療機関					計				
国立	公立	公的	私 立		国立	公立	公的	私 立		国立	公立	公的		
			病院	診療所				病院	診療所				病院	診療所
1		1	1		1	7		2	54	2	7	1	3	54
小 計			3		小 計			64		計			67	

22 救助活動件数

令和4（2022）年

事故種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然事故	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外										
出場件数	3		19	10					1		18	51
活場件数	3		3	7							10	23
救助人員			5	3							10	18

23 月別救助出場件数

令和4（2022）年

事故種別 月	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然事故	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外										
1月			1									1
2月	1										2	3
3月			2	2								4
4月				2							3	5
5月			1								3	4
6月			3								1	4
7月	1										3	4
8月	1		4	4							2	11
9月				1							2	3
10月			2									2
11月			1								1	2
12月			5	1					1		1	8
計	3	0	19	10	0	0	0	0	1	0	18	51

24 市町村別救助出場件数

令和4（2022）年

区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然事故	機械による	事故	建物による	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の	事故	計
	建物	建物以外													
柏崎市	3		17	7						1				16	44
刈羽村			1	1										1	3
出雲崎町			1	2										1	4
管外															0
計	3	0	19	10	0	0	0	0	0	1	0			18	51

25 市町村別救助出場件数の推移

市町村別	区分	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
柏崎市	出場件数	63	49	43	34	44
	活動件数	20	20	23	11	19
刈羽村	出場件数	4	4	2	4	3
	活動件数	2	1		1	1
出雲崎町	出場件数	4		3	2	4
	活動件数	3		1	1	3
管外	出場件数	2	3	2	2	
	活動件数		1			
計	出場件数	73	56	50	42	51
	活動件数	25	22	24	13	23

26 救助訓練実施状況

令和4（2022）年

区分	水難訓練	山岳訓練	ロープ基本	応用訓練	検索救助訓練	各種救助機器	取扱訓練	各種救助事象	想定訓練	その他の訓練	計
実施延回数	40		80	150	180		35		250		706
実施延人員	500		200	1,300	900		280		1,200		4,388
実施延時間	80		160	300	270		70		375		1,197

27 消防水利

(1) 消防水利の基準に適合した水利数

令和5（2023）年4月1日

水利		市町村	計	柏崎市	刈羽村	出雲崎町
総数A+B			2,302	2,052	111	139
消火栓	小計A		1,952	1,809	69	74
	公設	差込式	1,924	1,782	68	74
	私設	差込式	28	27	1	
防火水そう	小計B	100m ³ 以上	28	25	1	2
		40m ³ 以上100m ³ 未満	266	162	41	63
		20m ³ 以上40m ³ 未満	56	56		
		20m ³ 未満	0			
	公設	100m ³ 以上	13	13		
		40m ³ 以上100m ³ 未満	235	138	34	63
		20m ³ 以上40m ³ 未満	55	55		
		20m ³ 未満	0			
	私設	100m ³ 以上	15	12	1	2
		40m ³ 以上100m ³ 未満	31	24	7	
		20m ³ 以上40m ³ 未満	1	1		
		20m ³ 未満	0			

※防火水そうの20m³以上40m³未満には、バルブ付で基準適合のものを計上

(2) 現有水利数

令和5(2023)年4月1日

水利		市町村	計	柏崎市	刈羽村	出雲崎町
		総数A+B				
消火栓	小計A		2,757	2,339	167	251
	公設	差込式	2,720	2,305	165	250
	私設	差込式	37	34	2	1
防火水そう	小計B	100m ³ 以上	28	25	1	2
		40m ³ 以上100m ³ 未満	266	162	41	63
		20m ³ 以上40m ³ 未満	250	230	5	15
		20m ³ 未満	63	51		12
	公設	100m ³ 以上	13	13		
		40m ³ 以上100m ³ 未満	235	138	34	63
		20m ³ 以上40m ³ 未満	240	221	5	14
		20m ³ 未満	63	51		12
	私設	100m ³ 以上	15	12	1	2
		40m ³ 以上100m ³ 未満	31	24	7	
		20m ³ 以上40m ³ 未満	10	9		1
		20m ³ 未満	0			

28 消防車両等保有状況

令和5(2023)年4月1日

No.	種別 配置 場所	車名	メーカー・車種 車両用途	型級別	ポンプ 級別	機装 メーカー	登録 年月日	車齢	装備
1	本部・署	指令1号車	スズキ・ランディー 支援車	—	—	サンワーズ(株)	H22. 8. 9	12	
2	〃	指揮1号車	トヨタ・ハイエース 指揮車	—	—	サンワーズ(株)	H27.10.28	7	
3	〃	指令3号車	トヨタ・ヴォクシー 広報車	—	—	(株)橋詰商会	H22. 3.10	13	
4	〃	予防1号車	トヨタ・ハイエース 火災原因調査車	—	—	サンワーズ(株)	H29.11.10	5	
5	〃	消防2号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	長野 ポンプ(株)	H16.10.25	18	小型動力ポンプ
6	〃	消防3号車	日野・レンジャー 消防ポンプ自動車	I-A型	A-2	(株)モリタ	H27. 2. 9	8	積載水 1,500ℓ 伸縮式照明装置 大型油圧救助器具 圧縮空気泡消火装置
7	〃	消防4号車	三菱・キャンター 資機材搬送車	—	—	(株)柏新商会	H24.11.13	10	垂直パワーゲート
8	〃	消防5号車	ニッサン・シビリアン 人員搬送車	—	—	新潟日産 自動車(株)	H18. 7.28	16	
9	〃	消防6号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車 (非常用)	CD-I型	A-2	日本機械 工業(株)	H22. 3.10	13	小型動力ポンプ
10	〃	消防21号車	スズキ・パレット 業務車両	—	—	サンワーズ(株)	H22. 6.30	12	
11	〃	消防22号車	トヨタ・ライトエース 業務車両	—	—	(有)品田商会	H24. 8. 9	10	
12	〃	消防23号車	ニッサン・eNV200 業務車両	—	—	(株)日産 サテリオ	H29. 3.17	6	
13	〃	水槽1号車	日野・レンジャー 小型動力ポンプ付 水槽車	I型	B-2	日本機械 工業(株)	H26. 1. 9	9	積載水 5,000ℓ
14	〃	化学2号車	日野・レンジャー 化学消防車	II型	A-2	日本機械 工業(株)	H25. 3. 7	10	積載水 1,300ℓ 薬液 500ℓ 圧縮空気泡消火装置
15	〃	救助1号車	日野・レンジャー 救助工作車	II型	—	(株)モリタ	R2. 2. 6	3	大型油圧救助器具 クレーン・ウインチ 伸縮式照明装置
16	〃	救助2号車	いすゞ・フォワード 資機材搬送車	—	—	日本機械 工業(株)	H16.11.19	18	水災害用コンテナ 特殊災害用コンテナ パワーゲート

No.	種別 配置場所	車名	メーカー・車種 車両用途	型級別	ポンプ 級別	機装 メーカー	登録 年月日	車齢	装備
17	本部・署	梯子1号車	日野 はしご自動車	30m級	—	(株)モリタ	H16. 2. 9	19	発動発電機 高圧噴霧放水装置
18	〃	救急1号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H28. 2. 24	7	防振ベッド一体型モニター 除細動器
19	〃	救急2号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車 (非常用)	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	R1. 9. 25	3	防振ベッド一体型モニター 除細動器
20	〃	ホイール ローダー	キャタピラー・ミニホ イールローダー トラクターショベル	—	—	(株)柏新商会	H25. 9. 25	9	
21	西分署	消防1号車	日野・レンジャー 消防ポンプ自動車	II型	A-2	(株)モリタ	R3. 3. 18	2	積載水 3000ℓ
22	〃	消防7号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車 (非常用)	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H29. 12. 28	5	積載水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置 小型動力ポンプ 電動油圧救助器具
23	〃	梯子2号車	日野・レンジャー はしご自動車	15m級	A-2	(株)モリタ	H23. 1. 14	12	
24	〃	救急3号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H30. 9. 19	4	防振ベッド一体型モニター 除細動器
25	高柳 分遣所	高柳消防 1号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 11. 26	10	積載水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
26	〃	高柳救急 1号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H23. 10. 21	11	防振ベッド一体型モニター 除細動器
27	西山 分遣所	西山消防 1号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 1. 13	11	積載水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
28	〃	西山救急 1号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H28. 9. 15	6	防振ベッド一体型モニター 除細動器
29	〃	化学3号車	日野・レンジャー 化学消防車	II型	A-2	(株)モリタ	H22. 7. 12	12	積載水 1,300ℓ 薬液 500ℓ 圧縮空気泡消火装置 電動油圧救助器具
30	出雲崎 分遣所	出雲崎消防 1号車	日野・デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 1. 13	11	積載水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
31	〃	出雲崎救急 1号車	トヨタ・ハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H29. 9. 21	5	防振ベッド一体型モニター 除細動器

29 無人航空機（ドローン）保有状況

令和5（2023）年4月1日

機種	諸元	導入年度
INSPIRE 2	サイズ：L427mm×W425mm×H317mm 対角ホイールベース：605mm 重量（バッテリー非搭載）：3,290g 最大離陸重量：4,250g 最大離陸高度：2,500m 最大風速抵抗：10% 最大飛行時間：25分 送信機最大伝送距離：4km カメラ型式：Zenmuse X4S カメラズーム機能：無 カメラ広角機能：無 サーマルカメラ（熱画像）：無 カメラ夜間撮影：無	平成30（2018）年度
MATRICE 300 RTK	サイズ：L810mm×W670mm×H430mm 対角ホイールベース：605mm 重量（バッテリー非搭載）：3,600g 最大離陸重量：9,000g 最大離陸高度：5,000m 最大風速抵抗：15% 最大飛行時間：55分 防水保護構造及び保護等級：IP45（24時間雨量100ミリメートル以内） 送信機最大伝送距離：8km カメラ型式：Zenmuse H20T カメラズーム機能：有 カメラ広角機能：有 サーマルカメラ（熱画像）：有 カメラ夜間撮影：有	令和3（2021）年度

※ 操縦認定者数20人

30 緊急消防援助隊資機材保有状況（総務省消防庁から無償貸与）

令和5（2023）年4月1日

種類	資機材名	数量	貸与年度
放射性物質等 防護資機材	個人線量計 ドーズアイ（DOSE i）	5	平成23（2011）年度
	γ線及びX線用線量率系RDS-30	1	平成23（2011）年度
	半導体式ポケット線量計 マイドーズミニA（PDM-222SH）	10	平成24（2012）年度
	携帯用多目的サーベイメーター （γ線及びX線用線量率系）RadEye G10	3	平成24（2012）年度
	携帯用多目的サーベイメーター （表面汚染検査計）RadEye B20	1	平成24（2012）年度
	全面マスク （TW099）	5	令和3（2021）年度
	吸収缶 （TL3+R1）	30	令和3（2021）年度
	放射性物質等防護資機材一式（個人装備セット）	15	平成24（2012）年度

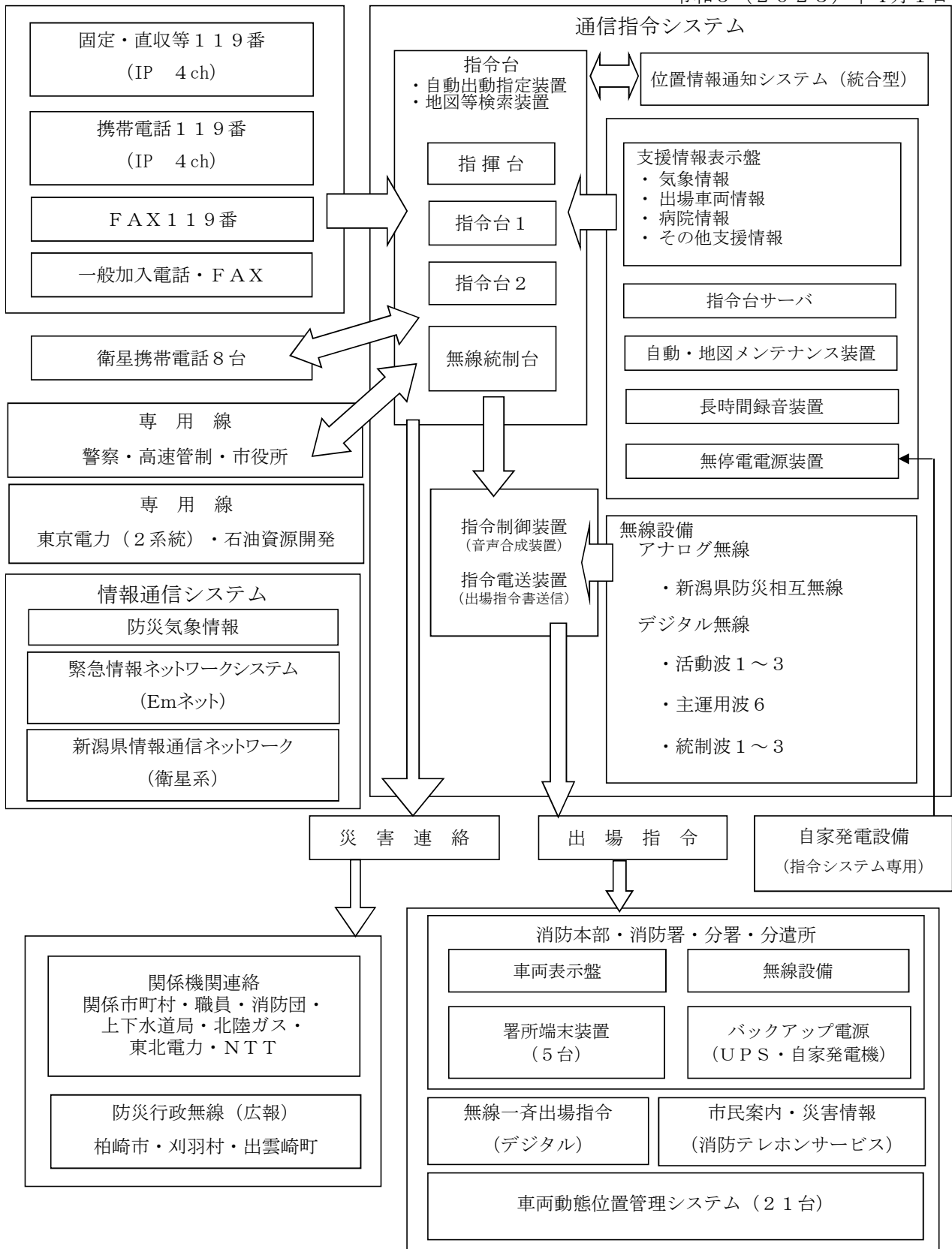
31 原子力防護資機材保有状況（新潟県から借受）

令和5（2023）年4月1日

資機材		配置場所					計
		本部・署	西分署	高柳分遣所	西山分遣所	出雲崎分遣所	
放射線測定器	電離箱式	3	1	1	1	1	7
	GM式	8	1	1	1	1	12
	シンチレーション式	11					11
	簡易サーベイメーター	47					47
デジタル式警報線量計		83	20	10	20	10	143
防護服(タイベック)		3,132	20	10	23	10	3,195
防護マスク(半面)		58	20	10	20	10	118
防護靴		94	20	10	20	10	154
オーバーシューズ		3,157	20	10	20	10	3,217
アノラック(上・下)		370	20	10	20	10	430
手袋(ダース)	ゴム製	317	2	1	2	1	323
	布製	266	2	1	2	1	272
汚染防護シート		7					7
ドライキャビネット		2	1		1		4
スチール書庫		2		1			3
空気呼吸器		28	4		5		37
空気呼吸器用ボンベ		50	12	2	10		74
高圧エアコンプレッサー		1					1
放射線防護服		15			5		20
除染シャワーテント		1					1
ノートパソコン		1					1
デジタルカメラ		1					1
広報車兼資機材搬送車		1					1
無線機	車載用無線	1					1
	可搬型携帯無線	4	1		1		6
	携帯無線	23	2	2	2	2	31

32 通信系統図

令和5（2023）年4月1日



33 無線施設

令和5（2023）年4月1日

種 別		本部・署（所）		本部・署	西分署	高柳分遣所	西山分遣所	出雲崎分遣所	聖ヶ鼻	計
消防無線 デジタル	基地局			1		1	1	1	1	5
	陸上移動局	車載		16	4	2	3	2		27
		卓上			1					1
		可搬		4	1		1			6
		携帯		39	8	4	6	4		61
新潟県 相互無線 防災	陸上移動局	車載		18	4	2	3	2		29
		卓上			1				1	
		可搬		4	1		1		6	
		携帯		1					1	
防災行政無線	柏崎市	固定系	遠隔制御装置	1						1
	刈羽村	固定系	遠隔制御装置	1						1
	出雲崎町	固定系	遠隔制御装置	1						1

34 気象状況

(1) 月別気象状況（観測場所・消防本部）

令和4（2022）年

月 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	累計
平均気圧 (hpa)	1,016.4	1,017.1	1,014.9	1,015.6	1,011.3	1,008.3	1,006.1	1,006.8	1,011.9	1,018.5	1,017.9	1,015.0	1,013.3	
平均湿度 (%)	74.6	76.5	71.7	69.6	68.1	76.2	82.7	80.5	81.2	81.3	79.6	83.7	77.2	
最小湿度 (%)	40.5	27.4	16.9	12.4	15.5	35.5	43.3	41.9	32.2	35.8	35.8	30.2		
平均風速 (m/s)	3.9	3.4	2.2	1.6	1.6	1.7	1.3	1.4	1.1	1.2	1.5	3.3	2.0	
最大風速 (m/s)	30.1	25.9	26.8	17.1	19.3	17.0	16.0	21.4	20.8	22.1	22.9	31.2		
平均気温 (℃)	2.6	2.3	6.9	12.5	17.1	22.2	26.5	27.0	23.8	15.6	12.2	4.8	14.5	
最高気温 (℃)	10.0	11.5	21.4	26.2	29.4	36.2	34.9	36.1	36.8	30.4	23.0	14.0		
最低気温 (℃)	-2.3	-2.1	-1.6	0.9	6.9	14.4	20.2	16.0	12.5	5.1	3.3	-1.0		
降水量 (mm)	228.0	241.0	73.0	112.0	92.5	100.0	172.5	147.0	122.0	179.5	172.0	675.0		2,314.5
降雪量 (cm)	112.0	172.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	166.0		450.0
快晴	1	0	2	5	9	4	4	2	5	3	1	0		36
晴	2	4	7	8	10	6	13	6	11	9	7	3		86
曇	22	14	16	13	9	19	14	22	11	12	18	10		180
雨	1	2	5	4	3	1	0	1	4	7	4	15		47
雪	5	8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	3		16

【備考】

最高気温	36.8℃	9月19日	12:50
最低気温	-2.3℃	1月1日	1:12
最大風速	31.2m/s	12月23日	5:33
最小湿度	12.4%	4月20日	16:53

(2) 気象状況の推移 (観測場所：消防本部)

年 区分	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
平均気圧 (hpa)	1,013.4	1,013.2	1,013.1	1,013.3	1,013.3	1,013.3
平均湿度 (%)	79.5	79.0	80.4	75.2	77.2	78.3
最小湿度 (%)	17.5	15.5	12.2	10.5	12.4	
平均風速 (m/s)	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.1
最大風速 (m/s)	29.3	30.5	31.7	36.4	31.2	
平均気温 (°C)	14.5	14.6	14.7	14.5	14.5	14.6
最高気温 (°C)	38.7	37.7	37.8	38.8	36.8	
最低気温 (°C)	-5.3	-1.8	-2.9	-5.2	-2.3	
降水量 (mm)	2,141.0	2,075.5	2,130.5	2,448.0	2,314.5	2,221.9
降雪量 (cm)	333.0	95.0	55.0	355.0	450.0	257.6

消 防 団



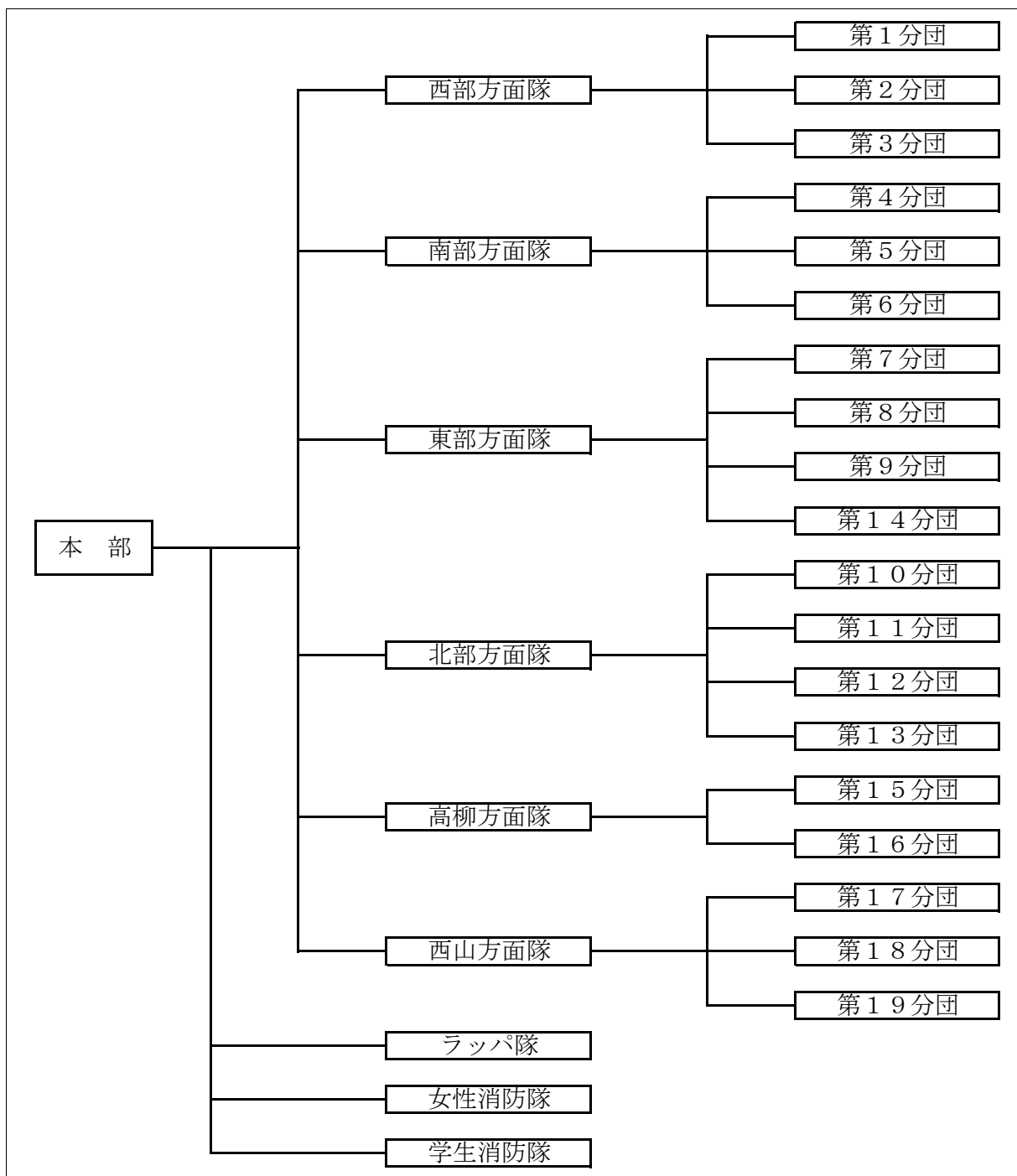
米 山

1 歴代消防団長

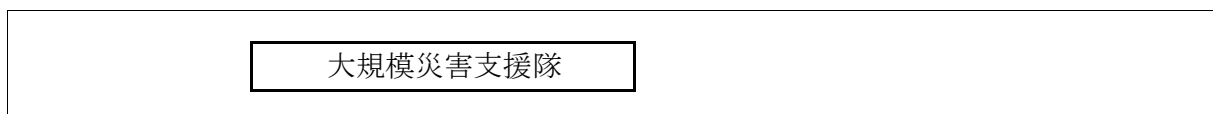
柏崎市消防団

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	布施 宗一	昭22. 12. 17	昭25. 8. 4	昭和22. 12. 7 柏崎市消防団結成
二代	笠木 恭平	昭25. 8. 10	昭30. 5. 24	
三代	西川 善吉	昭30. 6. 8	昭31. 1. 27	
四代	海津 善四郎	昭31. 1. 28	昭34. 5. 8	
五代	品田 三勇司	昭34. 5. 9	昭39. 3. 31	
六代	木村 辰二	昭39. 4. 1	昭41. 1. 13	
七代	高橋 久晴	昭41. 1. 14	昭44. 4. 25	
八代	石黒 明治郎	昭44. 6. 10	昭55. 3. 31	
九代	竹田 修治	昭55. 4. 1	昭59. 3. 31	
十代	長谷川 吉夫	昭59. 4. 1	平3. 3. 31	
十一代	岡村 実	平3. 4. 1	平11. 3. 4	
十二代	山田 順榮	平11. 3. 10	平16. 3. 31	
十三代	品田 汎朗	平16. 4. 1	平24. 3. 31	平成17. 5. 1高柳町、 西山町と合併
十四代	竹内 悦夫	平24. 4. 1	平25. 3. 31	
十五代	入澤 哲郎	平25. 4. 1	平29. 3. 31	
十六代	吉田 喜一郎	平29. 4. 1	令2. 3. 31	
十七代	須田 千佳雄	令2. 4. 1	令5. 3. 31	
十八代	田村 直敏	令5. 4. 1		

◆基本消防団



◆機能別消防団



3 消防団員調

令和5（2023）年4月1日

階級別	基本消防団							機能別消防団	計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	大規模災害 支援隊	
男性団員	1	6	20	20	32	75	1,040 (21)	19	1,213
女性団員			1	1			67 (46)		69
計	1	6	21	21	32	75	1,107 (67)	19	1,282

※()は、学生を再掲

※団員条例定数1,478人

4 消防団員報酬及び費用弁償の状況

令和5（2023）年4月1日
(単位：円)

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	106,000	70,000	51,000	42,000	38,000	37,000	36,500

出動報酬	火災・風水害・警戒活動	4時間以内	4,000
		4時間を超え6時間以内	6,000
		6時間を超え8時間以内	8,000
		8時間を超えた場合	超過に応じた額
費用弁償	会議・訓練・予防業務等	1回につき	2,000

5 消防団車両の状況

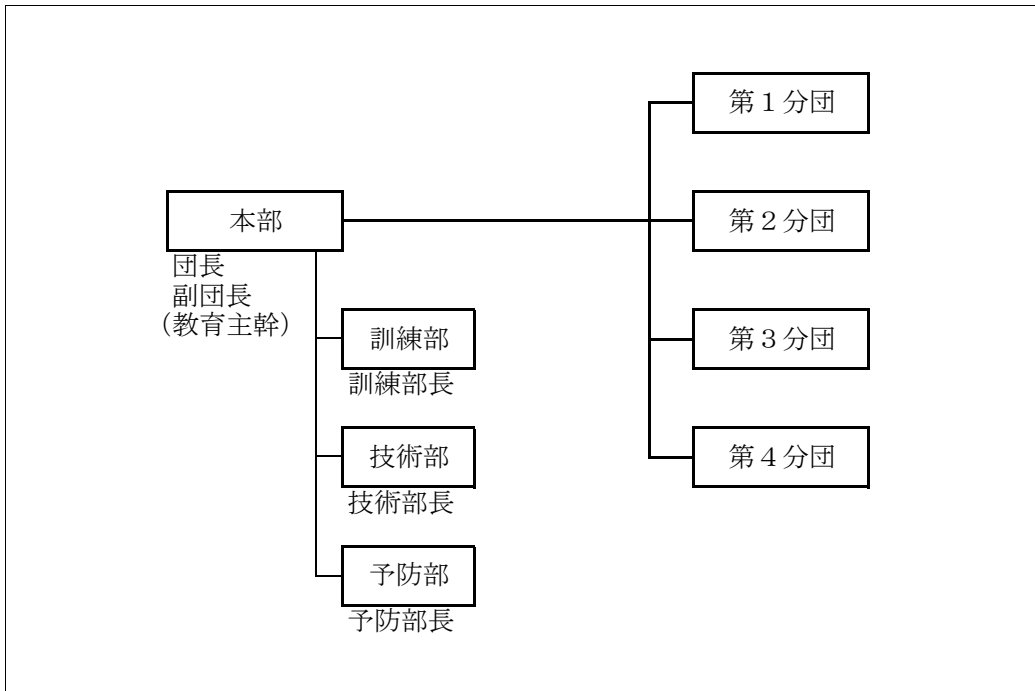
令和5（2023）年4月1日

種別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	その他
台数	0	85	1 (防災活動車)

6 管内町村の消防団組織図

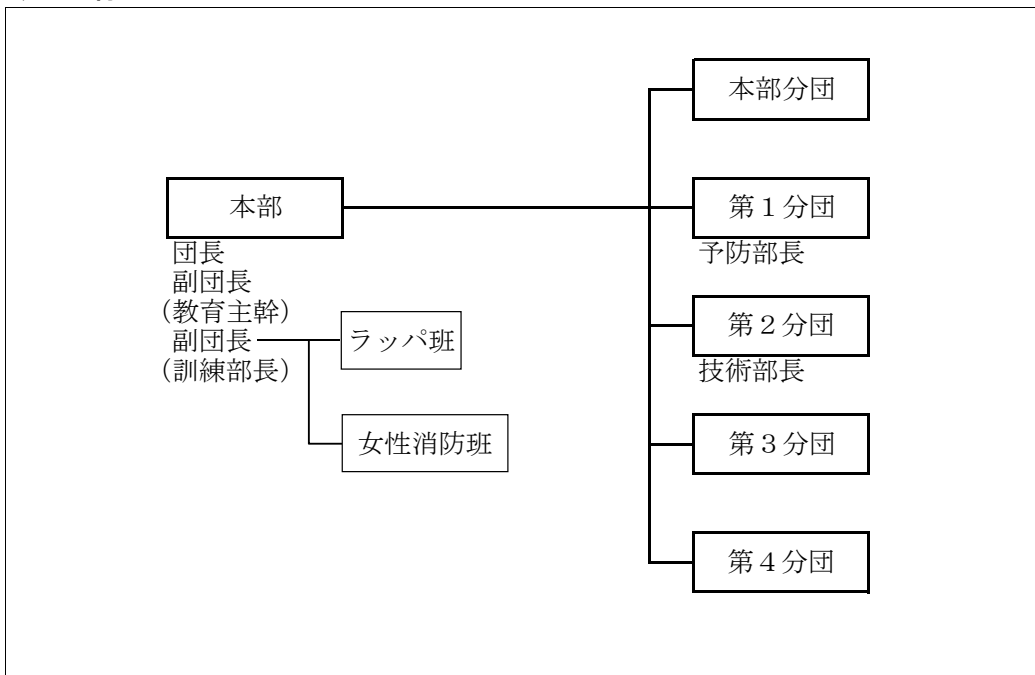
令和5（2023）年4月1日

◆出雲崎町



令和5（2023）年4月2日

◆刈羽村



消 防 年 報

令和5（2023）年 8月

発行 柏崎市消防本部

〒945-0034 柏崎市三和町8番51号

T E L 0257-(24)1500

F A X 0257-(24)1119

